



■梱包明細表

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like 梁取付金具, PLシール, 桁金具, etc.

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like 桁金具, アンカープレート, 鋼緑金具, etc.

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like アンカープレート, 六角フランジナット, 六角ボルト, etc.

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like アプセト六角セムスボルト, 六角フランジナット, etc.

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like 前柱, 中柱, 後柱, etc.

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like 上枠前, 上枠後, 上枠左, etc.

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like シャッターシャフト, シャッターレール, etc.

Table with columns: 梱包名, 梱包番号, 部材名, 数量. Includes items like シャッターブラケット, シャッターラック, etc.

この組立説明書はEコマース認定の再生紙を使用しています。お客様へ 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。 施行業者の方へ 取扱説明書は大切な書類です。 本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。 (SOB-14257) 3F3C 淀川製鋼 2014年制作

# ヨド倉庫

## 組立説明書 1

### SOB-5857型 (L)・(M)・(H)・(FH)

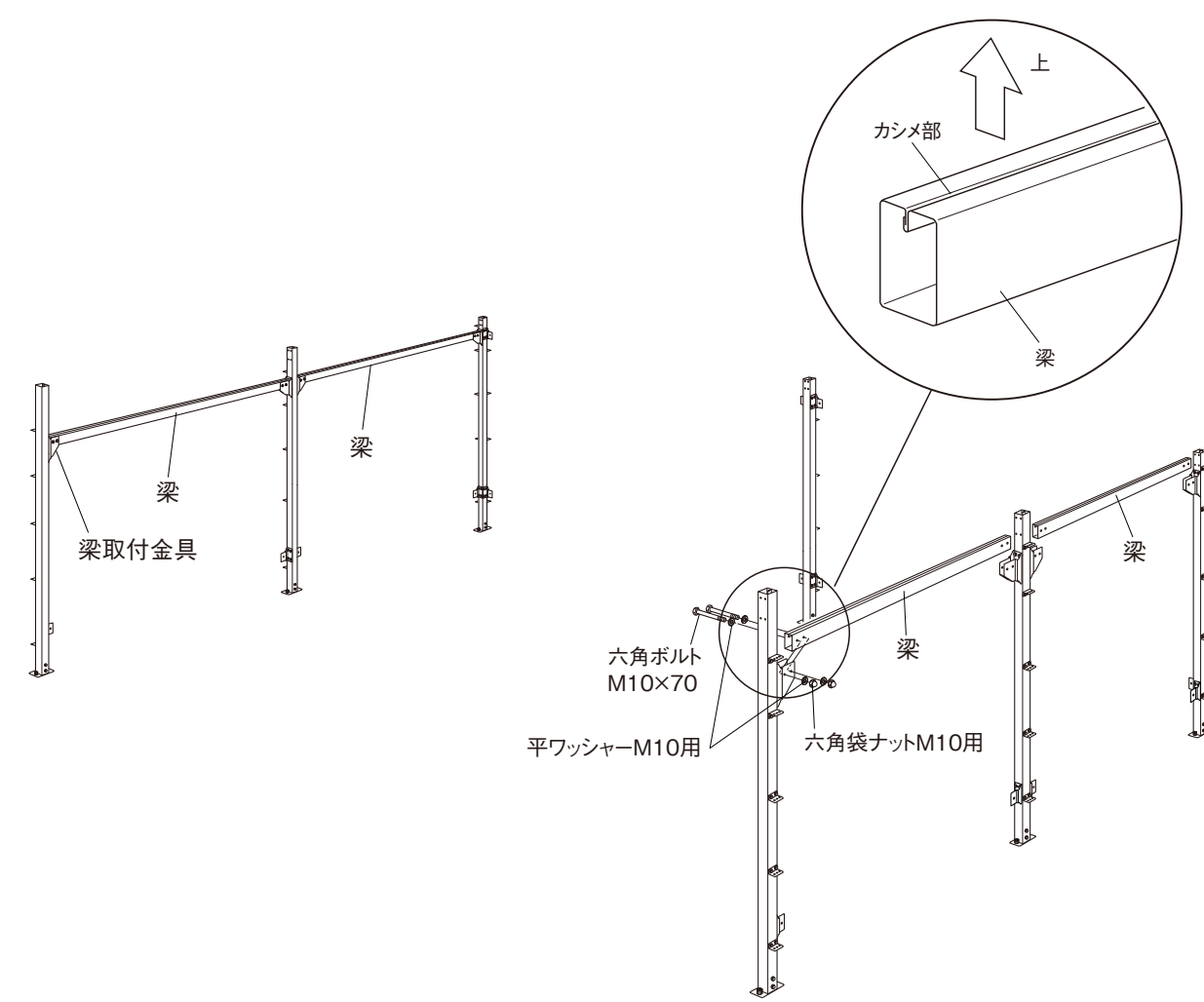


※本説明書はSOB-5857Mを基に説明しております。  
 ※組立説明書Ⅰ・Ⅱの順で組立てください。  
 ※SOB-11457型・14257型の場合は、本説明書と補足説明書を参照して組み立ててください。  
 ※下屋付きの場合は本説明書と「ヨド倉庫下屋」の組立説明書を参照して組み立ててください。

## 4 梁

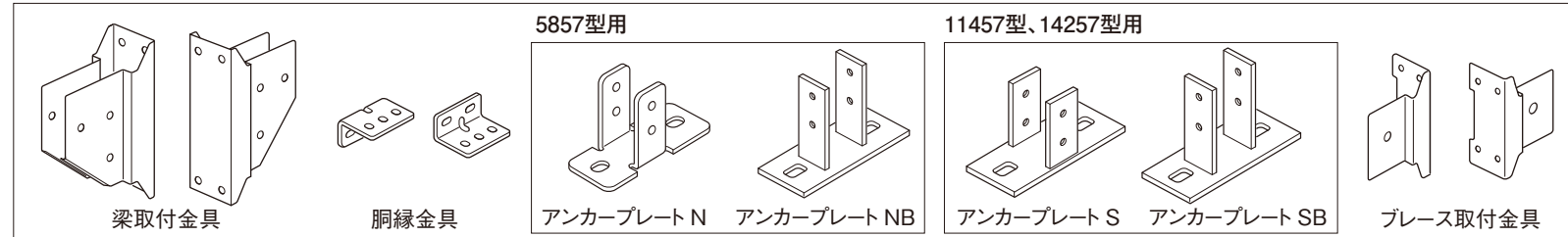
①各柱に取付けた梁取付金具の上からカシメ部が上にくるように梁を差込み、庫内側からボルト止めします。  
 (六角ボルトM10×70、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
 ※梁は全て共通で梁取付金具がある両端と連結部に入ります。  
 ※11457型、14257型は両端のみに入ります。

注意 下屋付きの場合、梁を止める前に前柱に下屋用コーナーカバーと束金具を取付けてください。

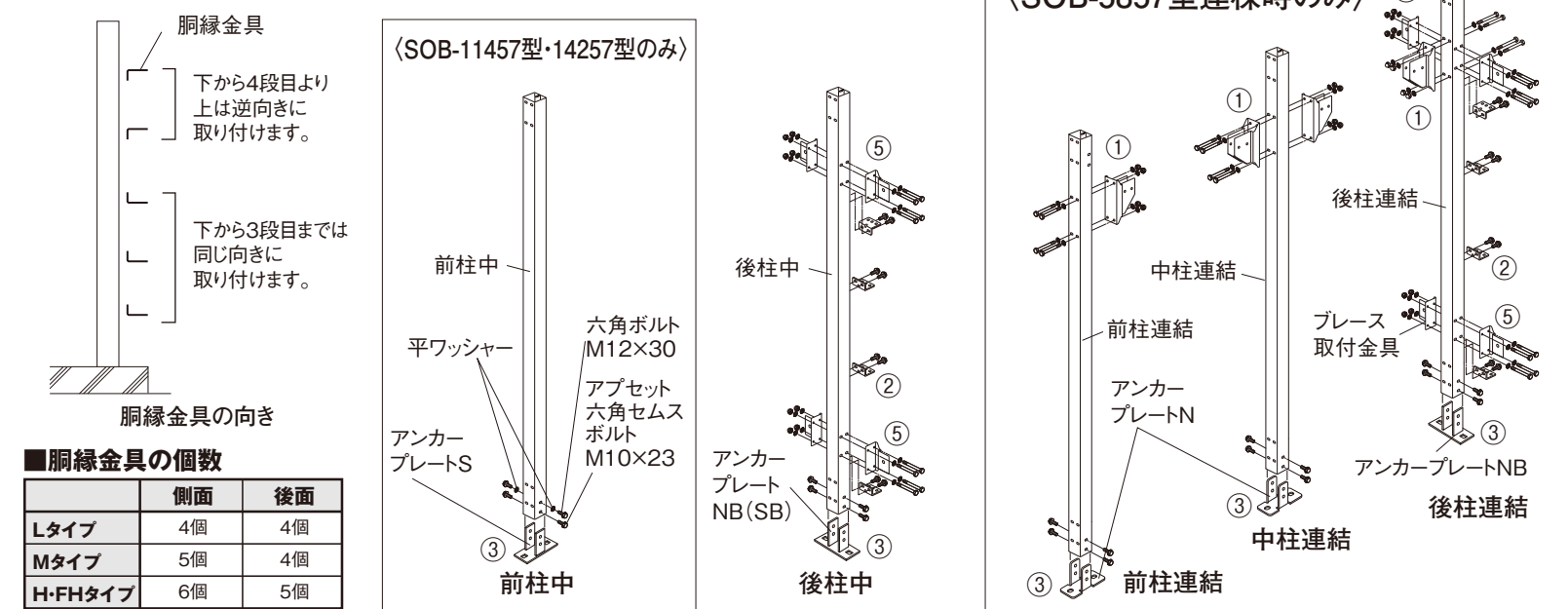


## 1 前工程 (1)

《使用金具一覧》



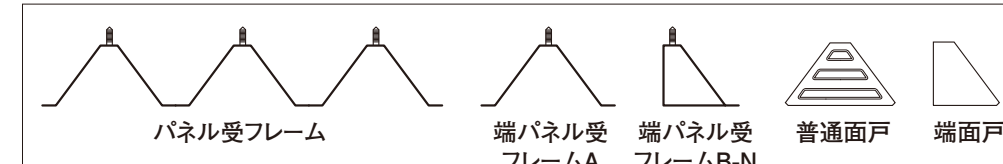
①梁取付金具を柱の上部に取付けます。  
 (六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
 ※Hタイプの場合は下図と取付位置が異なりますので注意してください。  
 (柱の上端より806mm下の位置になります)  
 ②鋼縁金具を柱のタップに取付けます。  
 (アプセット六角セムスボルトM8×21)  
 ※下から3段目までは図aのように取付け、4段目からは図bのように取付けます。  
 ③アンカープレートNBを後柱中及び後柱連結に取付け、それ以外の柱にはアンカープレートNを取付けます。  
 (アプセット六角セムスボルトM10×23)  
 ※11457型、14257型の場合はアンカープレートS、SBを使用します。  
 (上の2つのボルトが六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用になります。)  
 ④プレース取付金具を図のように前柱右(左)及び中柱右(左)の下部に取付けます。  
 (六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
 ⑤同様に後柱の上下にもプレース取付金具を取付けます。  
 (六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
 ※プレースの付かない所にはプレース取付金具は不要です  
 (⑧プレースの項目にある配置を確認ください。)



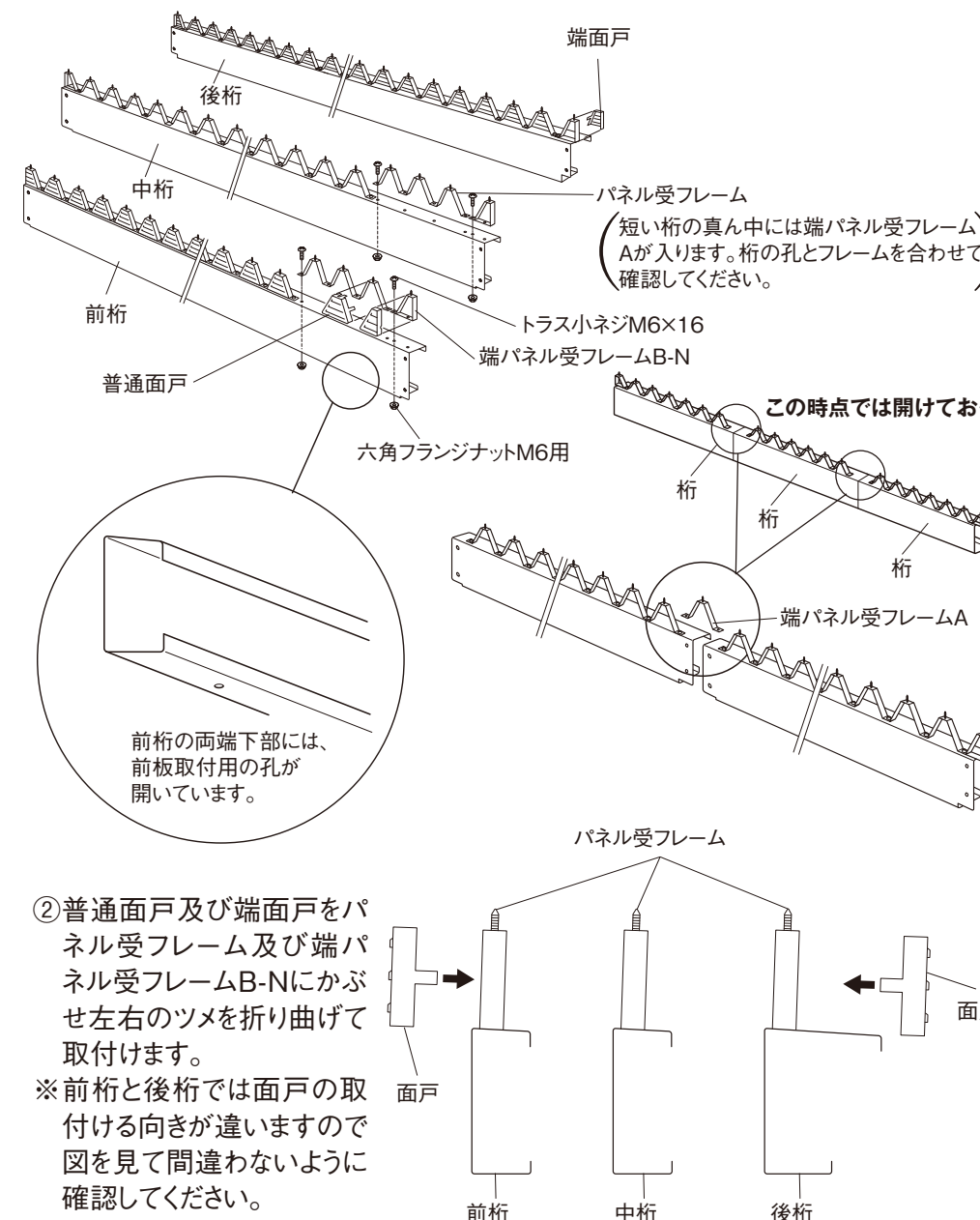
注意 柱の長さは前が一番長く、後が短くなっています。柱の種類は別紙「欄包細目表」でご確認ください。柱、金具の向きを間違えない様に注意してください。

## 2 前工程 (2)

《使用金具一覧》



①パネル受フレーム及び端パネル受フレームを桁に取付けます。  
 (トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)  
 ※桁のつなぎ目部分は桁を柱に取付けた後、端パネル受フレームA及び普通面戸を取付けますのでこの時点では取付けません。

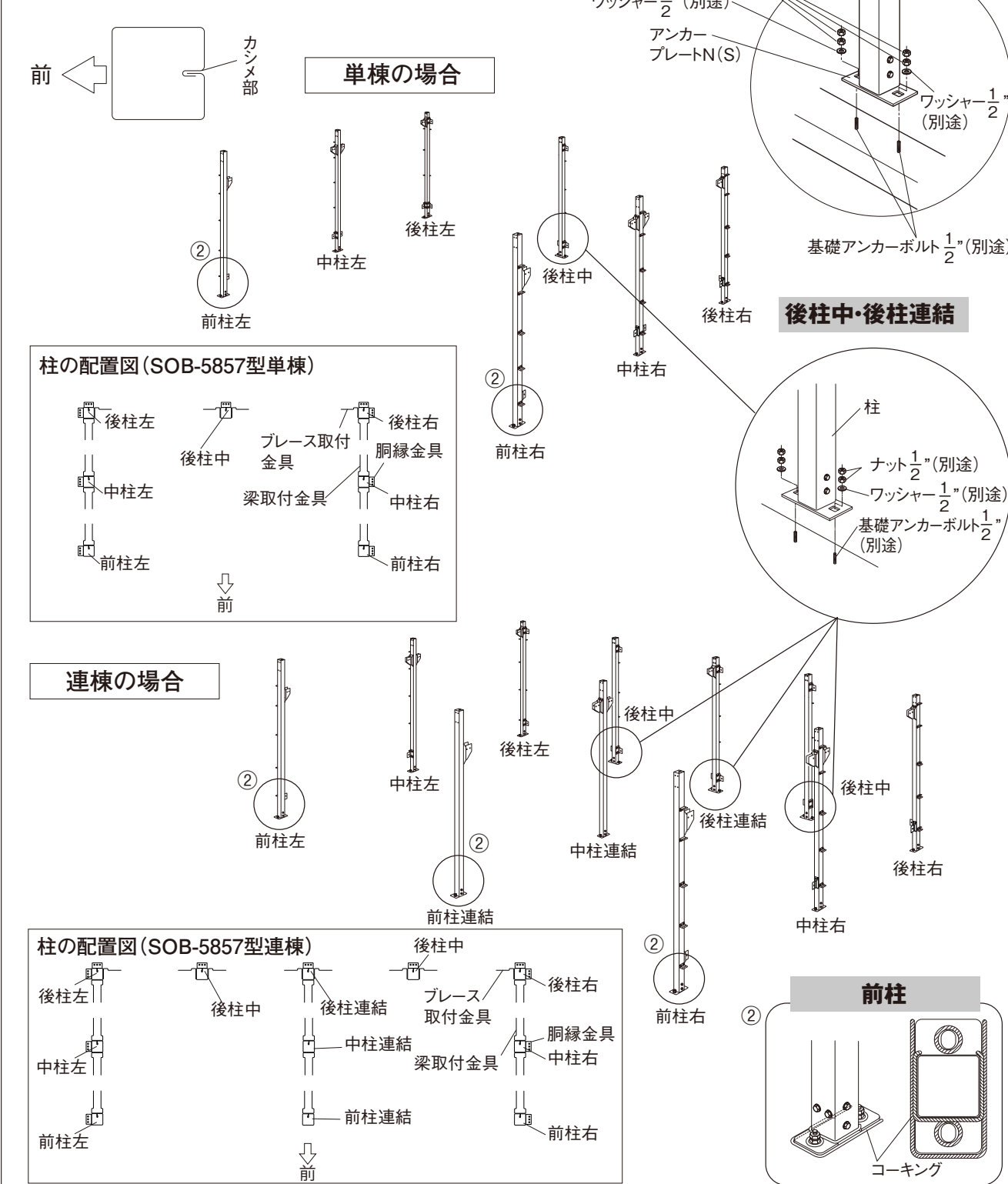


②普通面戸及び端面戸をパネル受フレーム及び端パネル受フレームB-Nにかぶせ左右のツメを折り曲げて取付けます。  
 ※前桁と後桁では面戸の取付ける向きが違いますので図を見て間違わないように確認してください。

## 3 柱

SOB-11457型・SOB-14257型の場合は、補足説明書を参照ください。

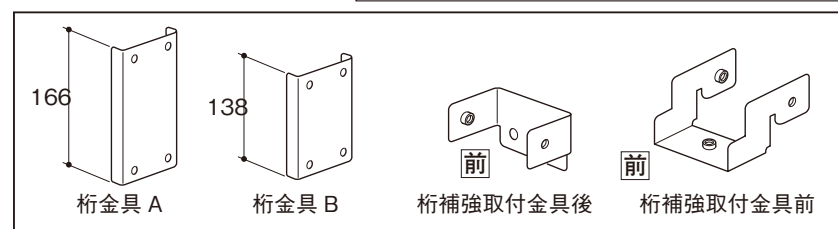
①柱をアンカーボルトに固定します。(ワッシャー1/2、ダブルナット1/2)  
 柱の向きはカシメ部が後にくるようにします。  
 ②前柱の下部には下図のようにコーキングしてください。



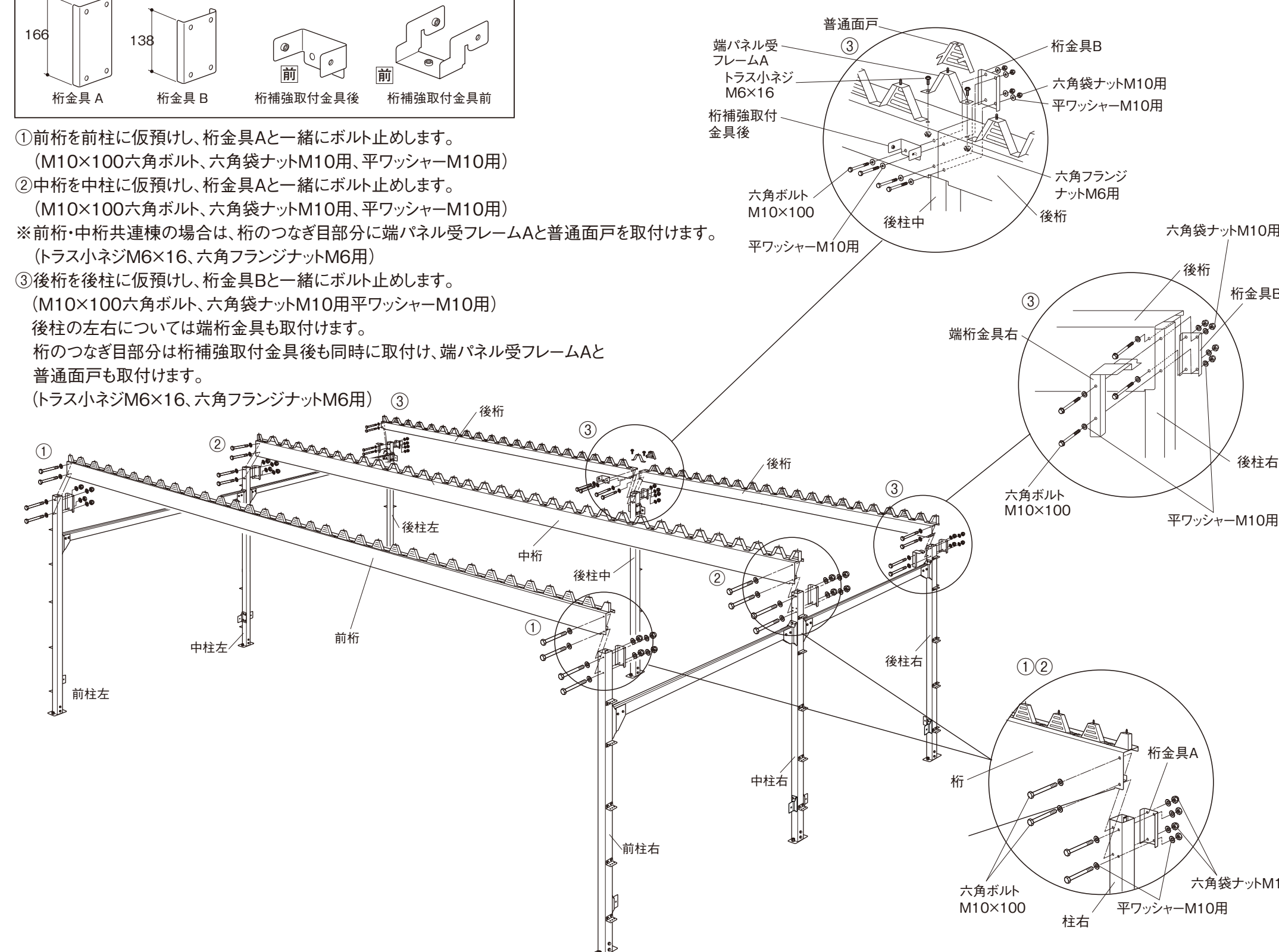
## 5 1 桁

SOB-11457型・SOB-14257型の場合は、補足説明書を参照ください。

《使用金具一覧》

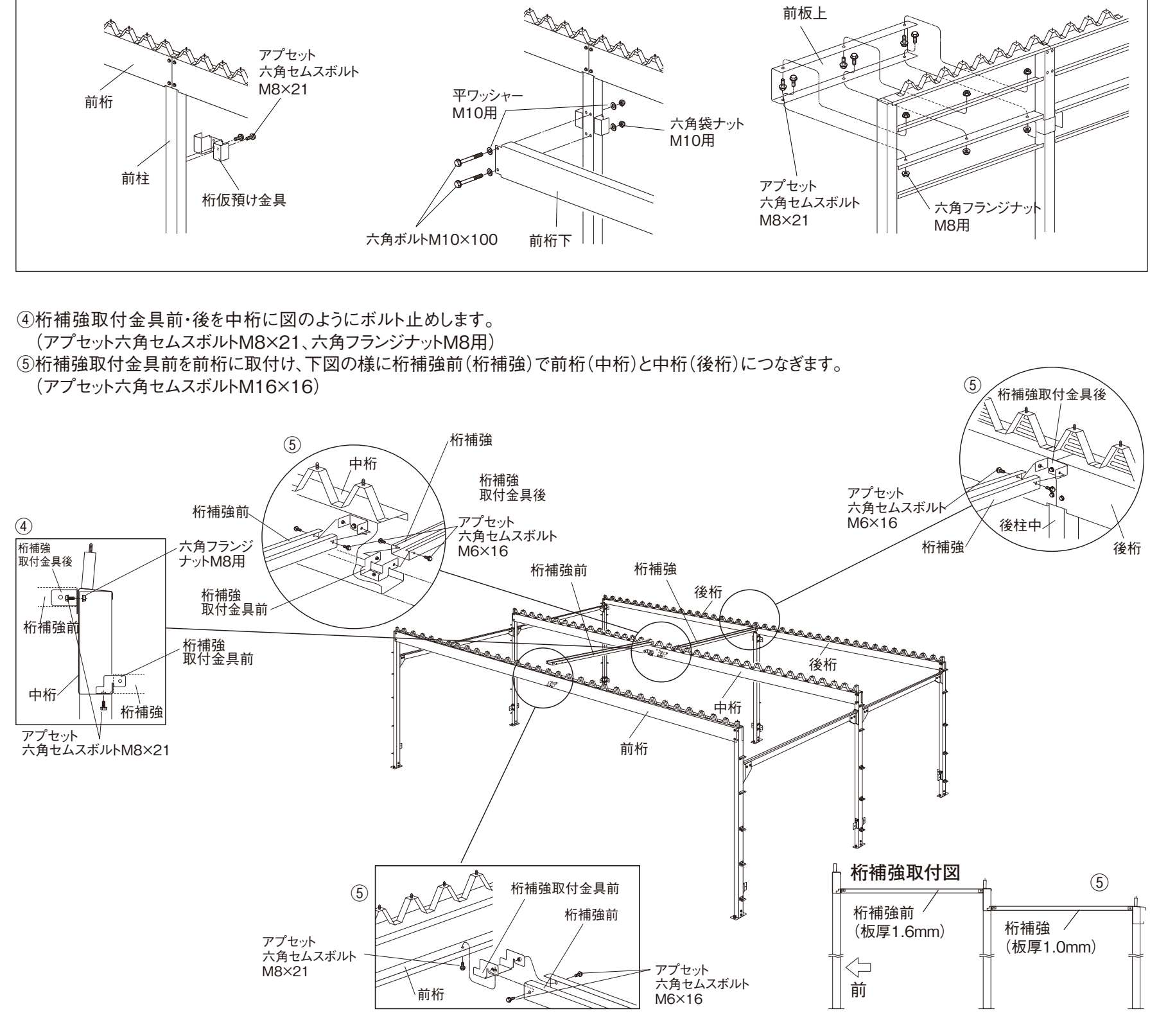


①前桁を前柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。  
 (M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
 ②中桁を中柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。  
 (M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
 ※前桁・中桁共連棟の場合は、桁のつなぎ目部分に端パネル受フレームAと普通面戸を取付けます。  
 (トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)  
 ③後桁を後柱に仮預けし、桁金具Bと一緒にボルト止めします。  
 (M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用平ワッシャーM10用)  
 後柱の左右については端桁金具も取付けます。  
 桁のつなぎ目部分は桁補強取付金具後も同時に取付け、端パネル受フレームAと普通面戸も取付けます。  
 (トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)



## Hタイプの場合

①桁仮預け金具を前柱に取付けます。  
 (アプセット六角セムスボルトM8×21)  
 ②前桁下を桁仮預け金具に仮預けし、取付けます。  
 (六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
 ③前板上を取付けます。  
 (アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)  
 前板上



## 5 2 桁

### ※前桁の倒れ調整

前桁(Hタイプの場合は前桁下)の倒れの調整を行います。Lタイプ・M(FH)タイプ・Hタイプで手順が異なりますので、各手順で倒れの調整を行ってください。

Lタイプ	M(FH)タイプ	Hタイプ
①ブラケット中を前桁と桁補強前にボルト止めします。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)	①ブラケット中を前桁と桁補強前にボルト止めします。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)	①ブラケット中補強を桁補強前にボルト止め、ブラケット中をブラケット中補強と前桁下にボルト止めします。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
②ブラケット中と桁補強前を調整用ボルトでつなぎます。(六角ボルトM10×150、平ワッシャーM10用、六角フランジナットM10用)	②桁調整金具を桁補強前に取付け、ブラケット中と桁調整金具を調整用ボルトでつなぎます。(六角ボルトM10×150、平ワッシャーM10用、アプセット六角セムスボルトM10×23、六角フランジナットM10用)	②桁調整金具を桁補強前に取付け、ブラケット中と桁調整金具を調整用ボルトでつなぎます。(アプセット六角セムスボルトM10×23、六角フランジナットM10用)
③前桁に水平器を当て、前桁の倒れを調整します。	③前桁に水平器を当て、前桁の倒れを調整します。	③前桁に水平器を当て、前桁の倒れを調整します。

## 6 胴縁

注意 胴縁は、この時点では仮止めで固定します。屋根をのせ、建ちを調整してから本締めします。

- ①胴縁Aを側面の前柱と中柱の胴縁金具に取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ②胴縁Gを側面の中柱と後柱の胴縁金具に取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ③胴縁BAを後面の胴縁金具に取り付けます。(連結の場合は、正面に向かって左より胴縁BA→胴縁BBの順に取り付けます。)この時、半円の切り欠きがある方を左端に取るように取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)

※胴縁A・G・BA・BBは、長さど孔位置が違いますので間違わないように確認してください。  
※胴縁は、1~3段目は下向きに、4段目以上は上向きに取り付けます。

	側面	後面
Lタイプ	4本	4本
Mタイプ	5本	4本
H・FHタイプ	6本	5本

## 7 上枠

- ①上枠後を端パネル受フレームB-Nの剣先に入れ、その上から上枠前を重ねて下図の様に取付けます。(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ②ケラバ穴隠し金具を上枠後に取付けます。(セルフドリルビス4φ×13)

●前後左右の確認をしてください。

※図は、右側面に取付く上枠を表示しています。左側面に取付く上枠は、左右対称となります。

## 8 ブレース SOB-11457型・SOB-14257型の場合は、補足説明書を参照ください。

※全てのブレースを取り付ける事により、建築基準法上の風荷重・地震荷重に耐える構造となっていますので、必ず全てのブレースを取り付けてください。

### 側面ブレースの取付

- ①ブレースを側面前の梁取付金具とブレース取付金具に取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)
- ※Hタイプ・FHタイプは、ブレースが太く(10.7φ)なります。(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)
- ※側面にオプション扉ドア・引戸・補助ドアが付く場合は、ブレースの取付け位置を変更する必要がありますので、次の[オプション扉ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合]を先に確認してください。

■側面

2連続まではブレースを取付けません。

■SOB-5857型側面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		ブレース径
	NA-B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=1875mm)	NA-B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm)	NA-B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=1875mm)	NA-B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm)	
連続数	前	後	前	後	7.0φ
単棟	○	×	○	×	
2連続	○	○	○	○	
3連続以上	○	○	○	○	7.0φ

○:必要 ×:不要

### オプション扉ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合

- ※側面にオプション扉ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合、ブレースの取付け位置を変更します。(後面にはオプション扉ドア・引戸・補助ドアは付きません。)
- ①開口部を取付ける側のブレース取付金具を外します。
  - ②外したブレース取付金具を開口部を取付け、側面のブレース取付金具と一緒に向かい合わせで取付けます。又、ブレース取付金具を外したところには、再度ボルトのみを取付け、柱の孔を隠します。(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

■後面

- ③ブレースを2組(4セット)、それぞれ室内側・室外側の梁取付金具とブレース取付金具に取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)

■後面ブレースの取付

- ①ブレースを柱上部のブレース取付金具と柱下部のブレース取付金具に取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)
- ※Hタイプ・FHタイプは、ブレースが太く(10.7φ)なります。(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)

■後面

※後面は全てのスパンにブレースを取付けます。

■SOB-5857型後面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		ブレース径
	NA-B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=1875mm)	NA-B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm)	NA-B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=1875mm)	NA-B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm)	
連続数	前	後	前	後	7.0φ
単棟	○	○	○	○	
2連続以上	○	○	○	○	

○:必要 ×:不要

機種	H・FHタイプ		ブレース径
	SB-H ℓ=3650mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2480mm)	SB-H ℓ=3650mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2480mm)	
連続数	前	後	10.7φ
単棟	○	○	
2連続以上	○	○	

### 屋根ブレースの取付

- ①ブレースを全ての桁間に取付けます。(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)

### ■屋根面

■SOB-5857型屋根面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		H・FHタイプ		ブレース径
	NC ℓ=3635mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2495mm)	NC ℓ=3635mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2495mm)	NC ℓ=3635mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2495mm)	NC ℓ=3635mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2495mm)	NC ℓ=3635mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2495mm)	NC ℓ=3635mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2495mm)	
連続数	前	後	前	後	前	後	7.0φ
単棟以上	○	○	○	○	○	○	

○:必要 ×:不要

### 中間ブレースの取付

- ※連続数により強度を確保するため、連結部分にブレースを2組(4セット)取付ける必要があります。必要数は下記の表で確認してください。また、中間ブレースは、ブレースで区切られた面積が均等になるように配置してください。

■SOB-5857型連結部ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		ブレース径
	NA-B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=1875mm)	NA-B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm)	NA-B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=1875mm)	NA-B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2170mm)	
連続数	必要本数	必要箇所	必要本数	必要箇所	7.0φ
2連続まで	0	0	0	0	
3連続	0	0	4	1	
4連続	4	1	8	2	
5連続	8	2	8	2	
6連続	8	2	12	3	

機種	H・FHタイプ		ブレース径
	SA-H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2375mm)	SA-H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm + ℓ2=2375mm)	
連続数	必要本数	必要箇所	10.7φ
2連続まで	0	0	
3連続	0	0	
4連続	4	1	
5連続	4	1	
6連続	8	2	

### ブレースの取付確認

- ①下図の様にターンバックルで調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。(今後の組立に支障がでます。)
- ※屋根をのせた後も調整が必要です。
- ※柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行なってください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

部品箱の中の取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

(SOB-5857) 3DFOU 淀川製鋼 2013.11月A制作

# ヨド倉庫

## 組立説明書 2

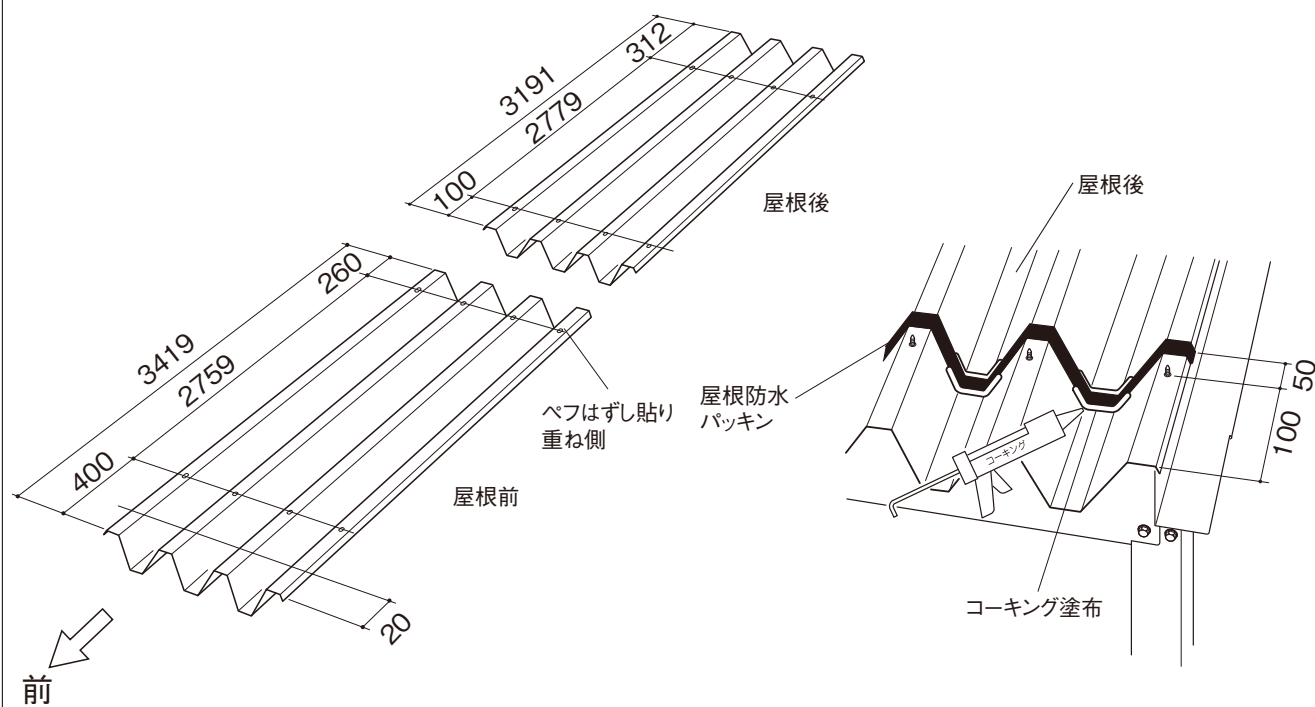
### SOB-5857型 (L)・(M)・(H)・(FH)



※本説明書はSOB-5857Mを基に説明しております。  
 ※組立説明書①・②の順で組立てください。  
 ※SOB-11457型・14257型の場合は、本説明書と補足説明書を参照して組み立ててください。  
 ※下屋付きの場合は本説明書と「ヨド倉庫下屋」の組立説明書を参照して組み立ててください。

## 9 屋根及びケラバ接続金具

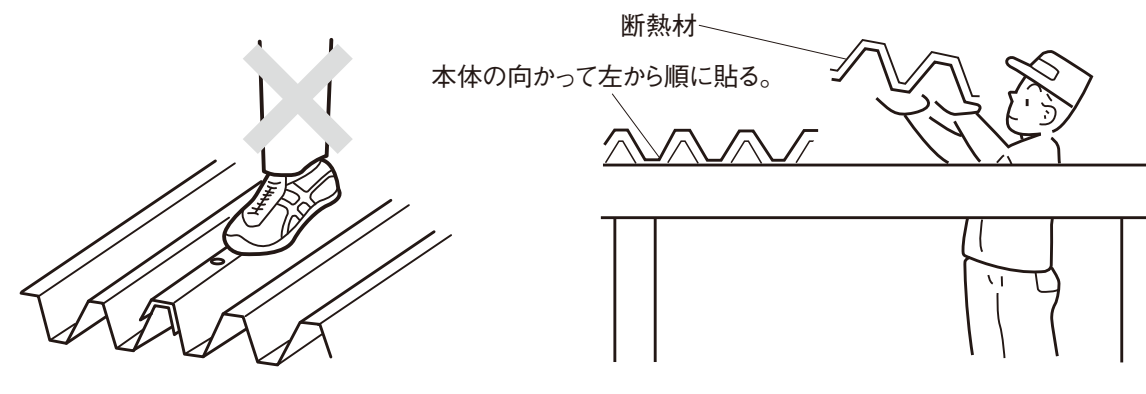
- ①屋根後をパネル受フレームの剣先ボルトに通してのせます。
- ②屋根後をのせ終わったら、図のように屋根防水パッキンを取り付け谷部をコーキングします。



▶屋根は前と後の2分割になっていますので、屋根の重ね部には、防水パッキン、コーキングを必ず施してください。

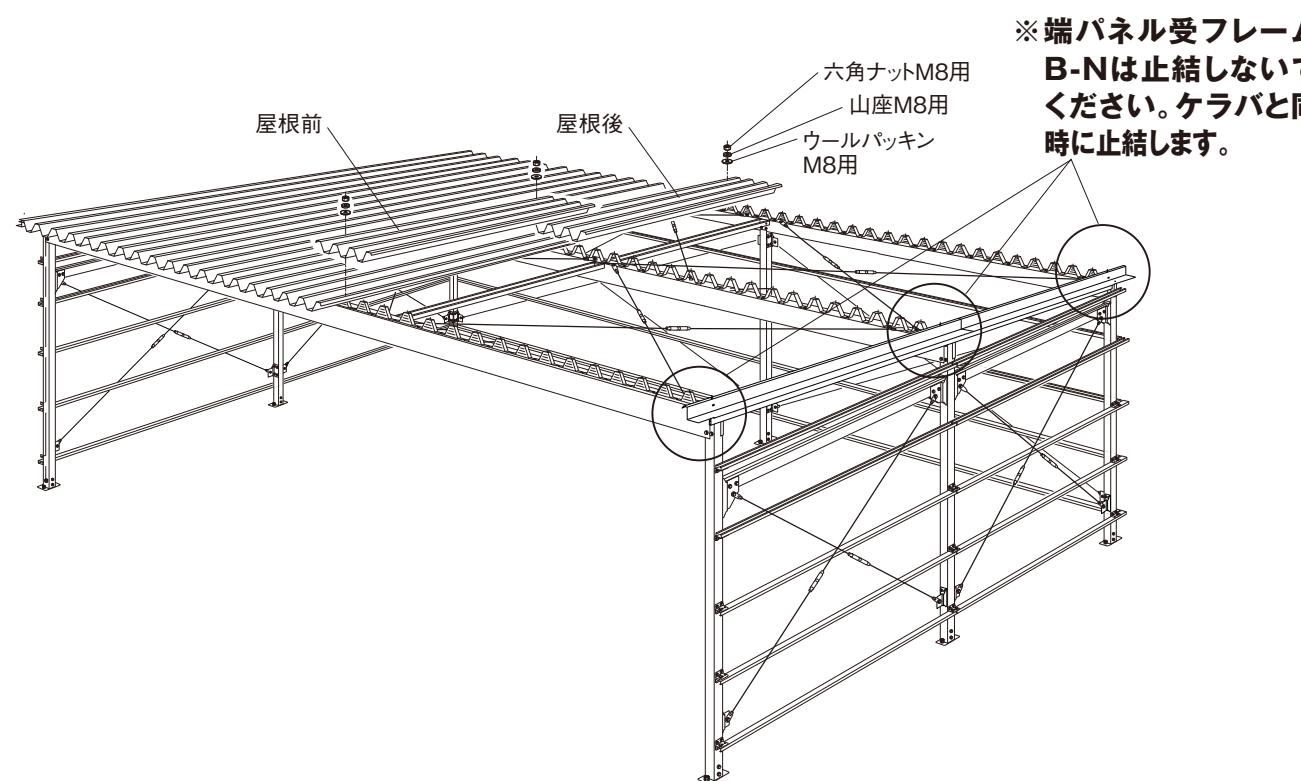
### 注意

- 屋根に上る場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
- 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。
- 屋根の裏面に柔らかい断熱材が貼ってありますので、キズつけないように取り扱いには十分ご注意ください。断熱材の面を上にして貼る位置を決めてから、ひっくり返して取り付けてください。



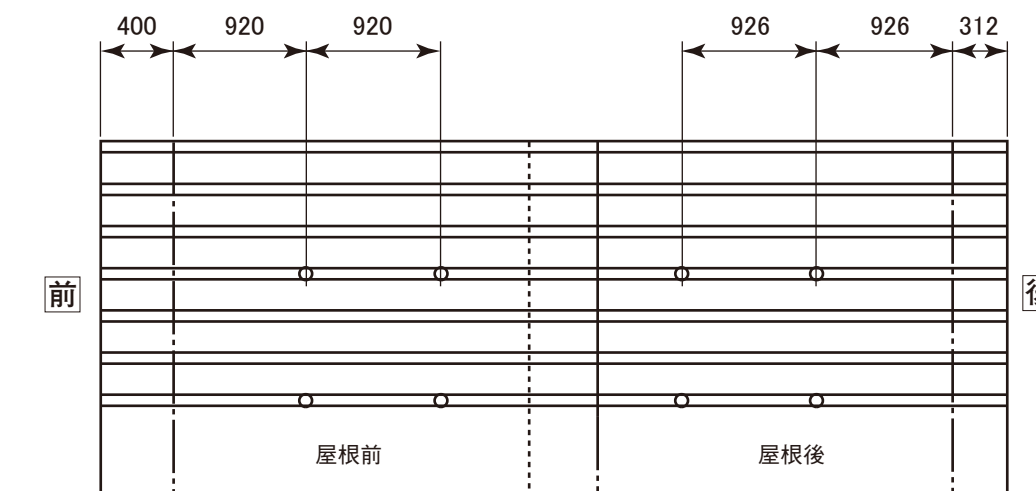
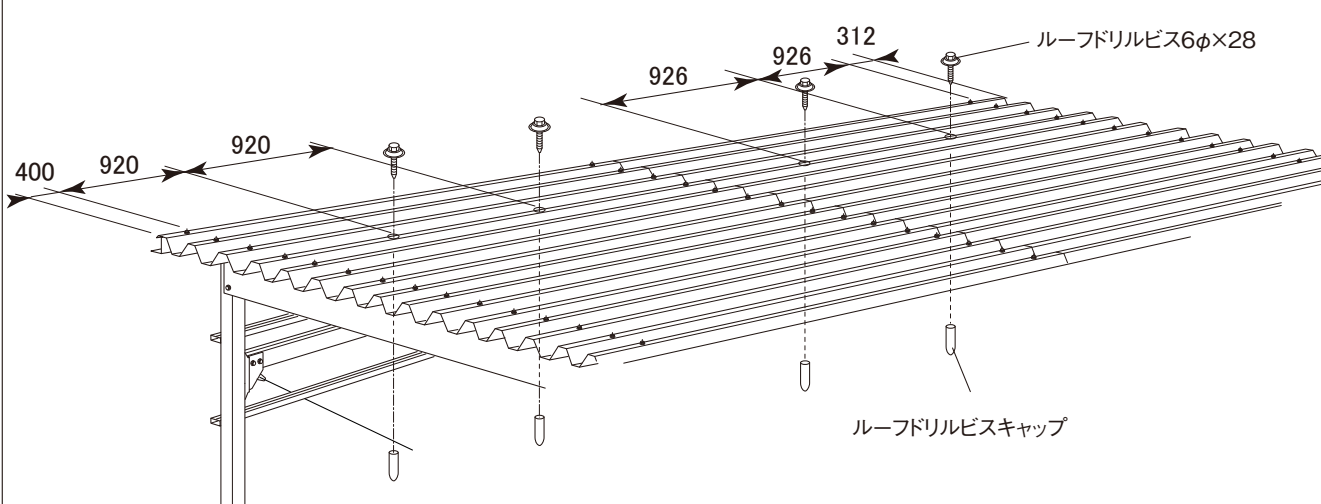
- ③屋根前も同じようにパネル受フレームの剣先ボルトにのせたら、両端部を残し止結します。(ウールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)

注意 屋根をのせたら仮締めし、ブレース等で調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。(調整方法は⑧ブレースを参照)調整後、胴縁と屋根を本締めします。

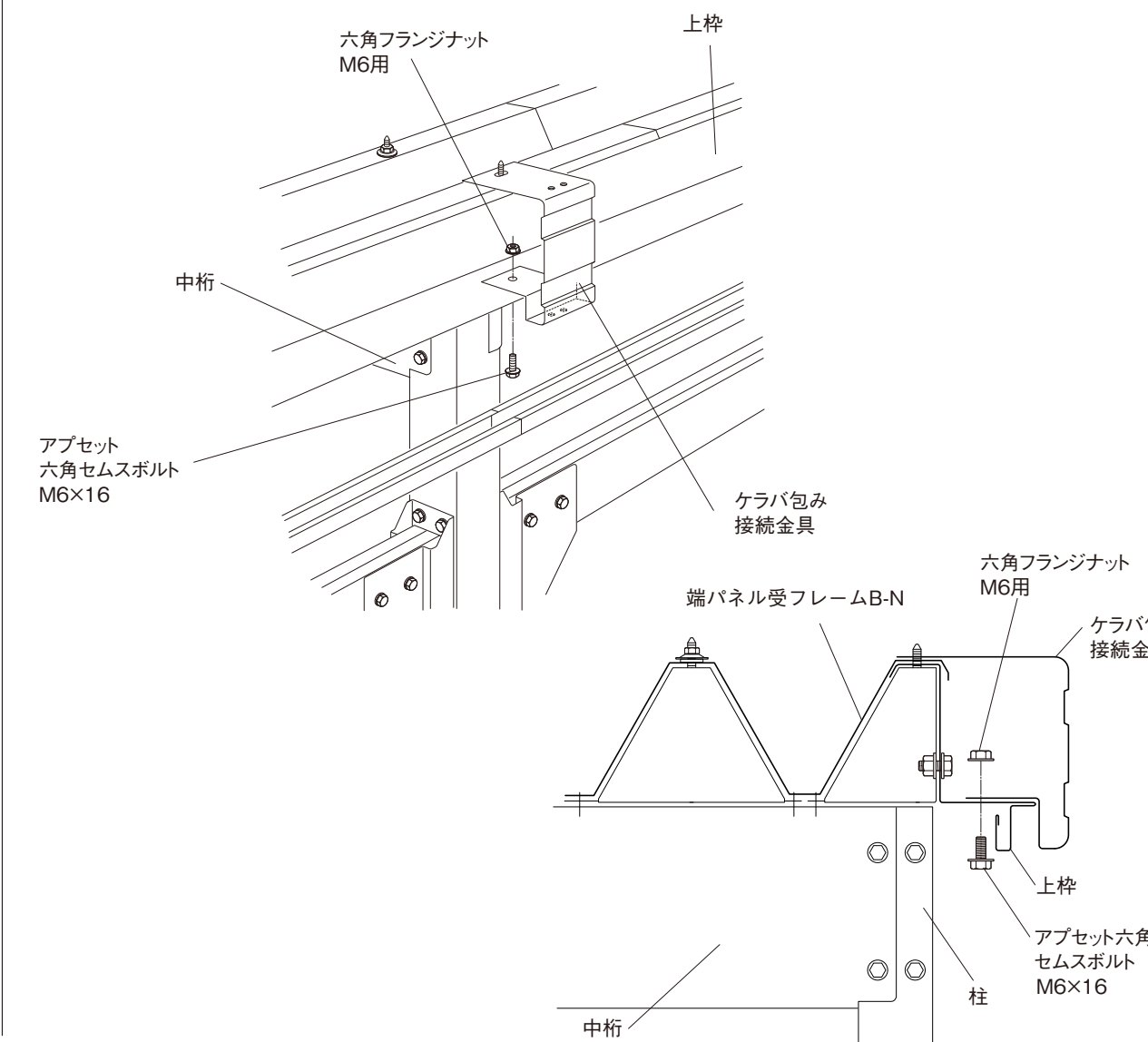


- ④屋根を本締めで固定した後、屋根重ね合わせ中央部をフレーム間で2ヶ所止結します。止結後、室内側よりキャップをかぶせます。(ルーフトドリルビス6φ×28、ルーフトドリルビスキャップ)

※ルーフトドリルビスは締め過ぎると空回りしますので注意してください。



- ⑤ケラバ包み接続金具を中桁の端パネル受フレームB-Nの剣先ボルトに差し込み、上枠と取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM6×16、六角フランジナットM6用)

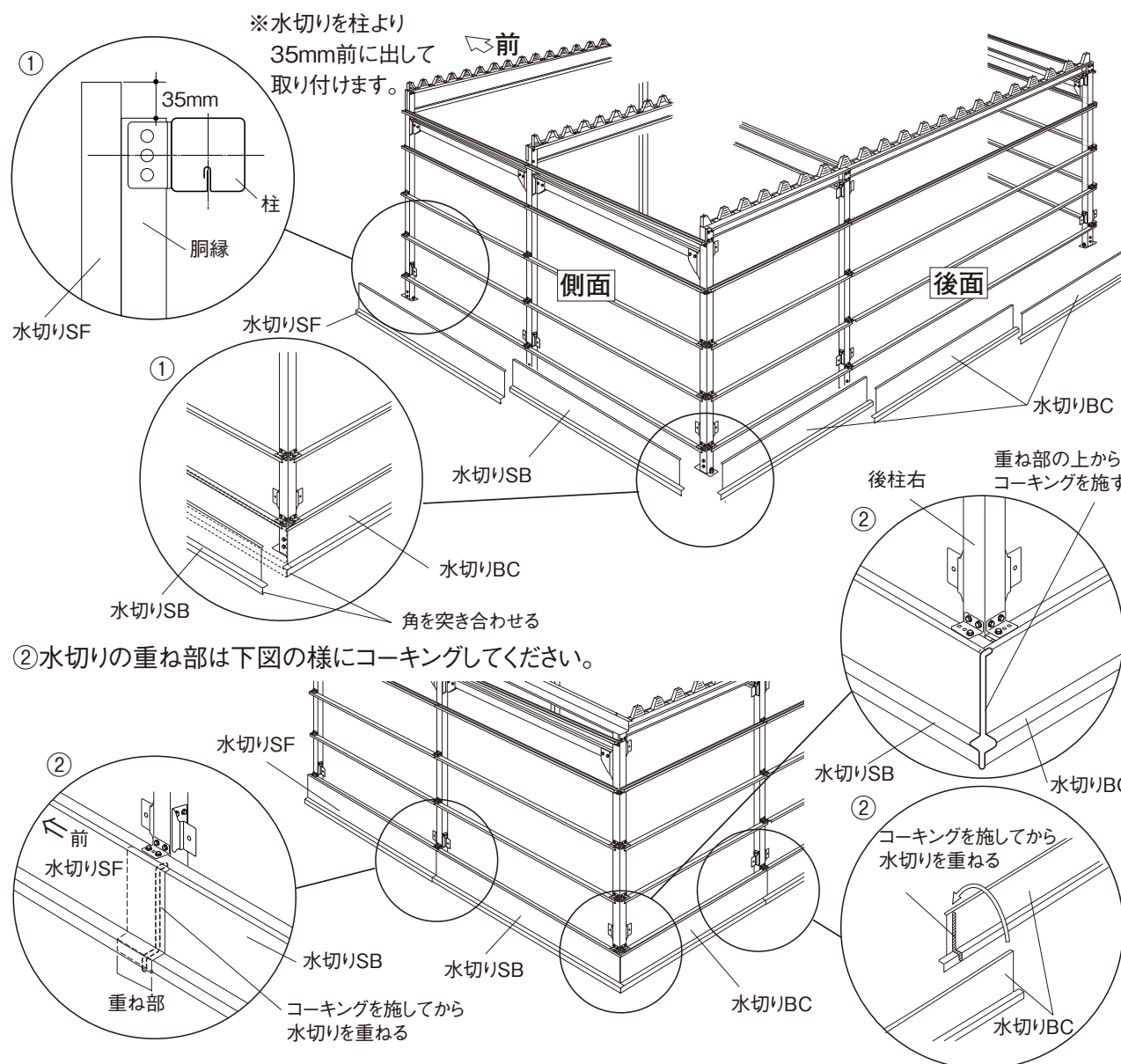
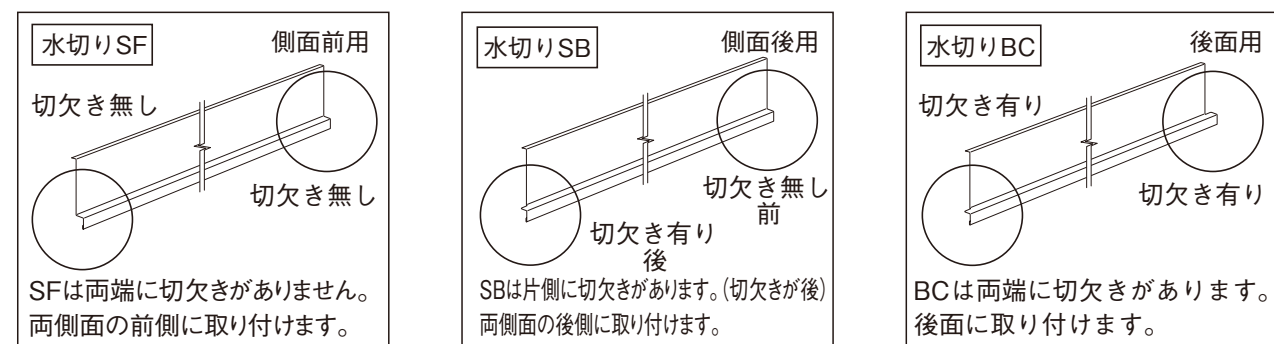


## 10 水切り及び壁

注意 下屋付きの場合、水切りは柱のツラに合わせます。

- ①水切りを一番下の胴縁に仮預けします。水切りBCを後面に配置し、側面後側の水切りSBと角を突き合わせます。水切りSFを側面前側に配置します。

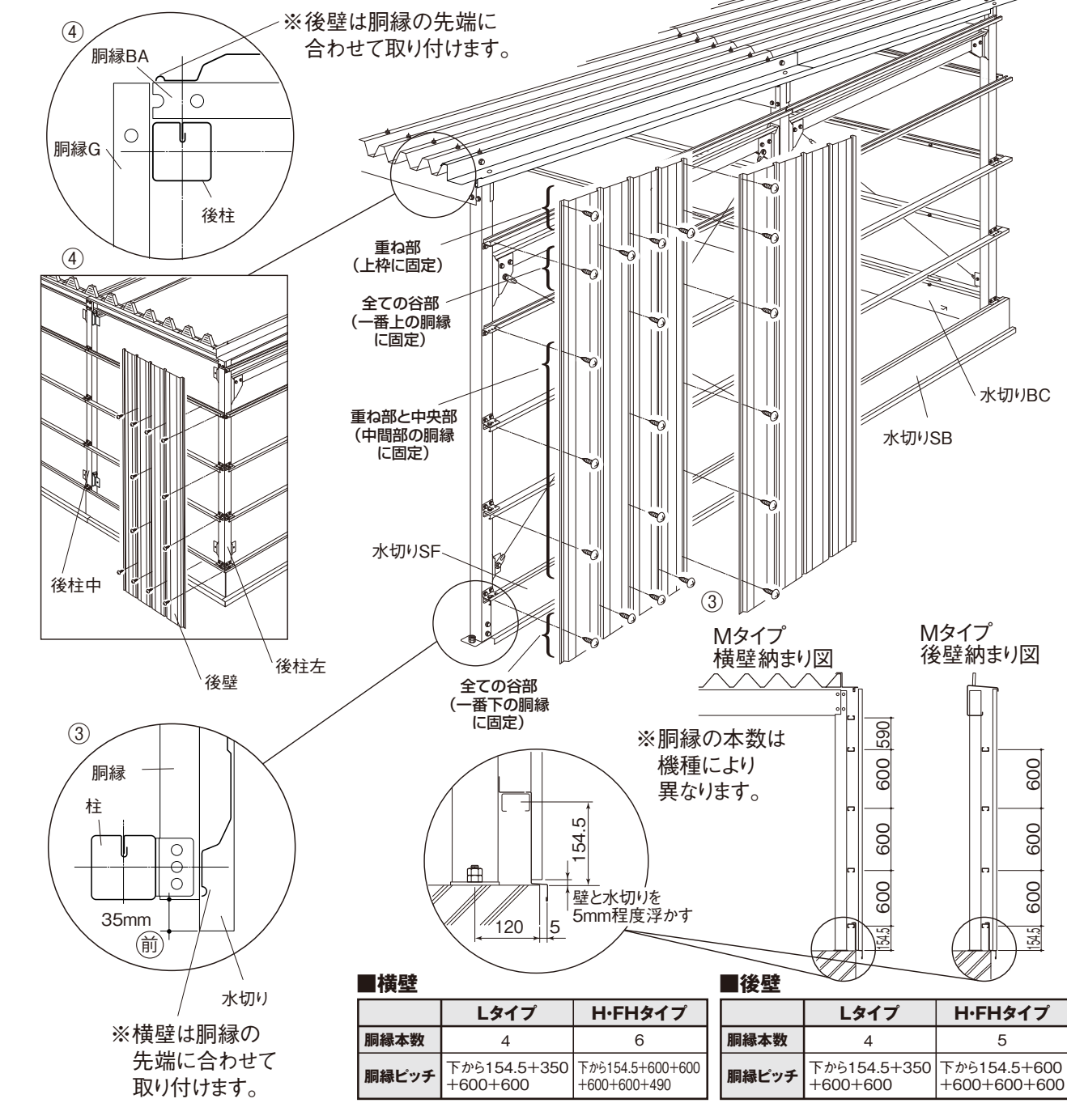
※水切りSFは胴縁より約35mm程度前に出してください。



- ②横壁を前から順に胴縁(胴縁A)の先端に合わせ取付けます。(セルフドリルビス4φ×13)
- ④後壁を正面向かって左側から、胴縁(胴縁BA)の先端に合わせ順に取付けます。(セルフドリルビス4φ×13)
- ※壁のドリルビスは、上枠部は重ね部のみ、一番上と一番下の胴縁部は全ての谷、それ以外の胴縁部は重ね部と中央部のみの固定となります。いずれも胴縁・上枠内にビスが隠れるように固定してください。
- ※間口柱芯寸法が壁の幅寸法(800mm)で割り切れない場合、途中で壁の山部(200mm部)を重ねて調整していただく必要があります。(横壁は、奥行きが標準(5500mm)であれば調整は不要です。)
- (例)5600(間口柱芯寸法)÷800=7(調整不要) (例)8400(間口柱芯寸法)÷800=10.5(2山分調整)

注意 壁を固定するドリルビスは、止める位置を間違えると数が必要になりますので注意してください。また漏水の原因になりますので、テックスは必ず真っすぐ打ってください。

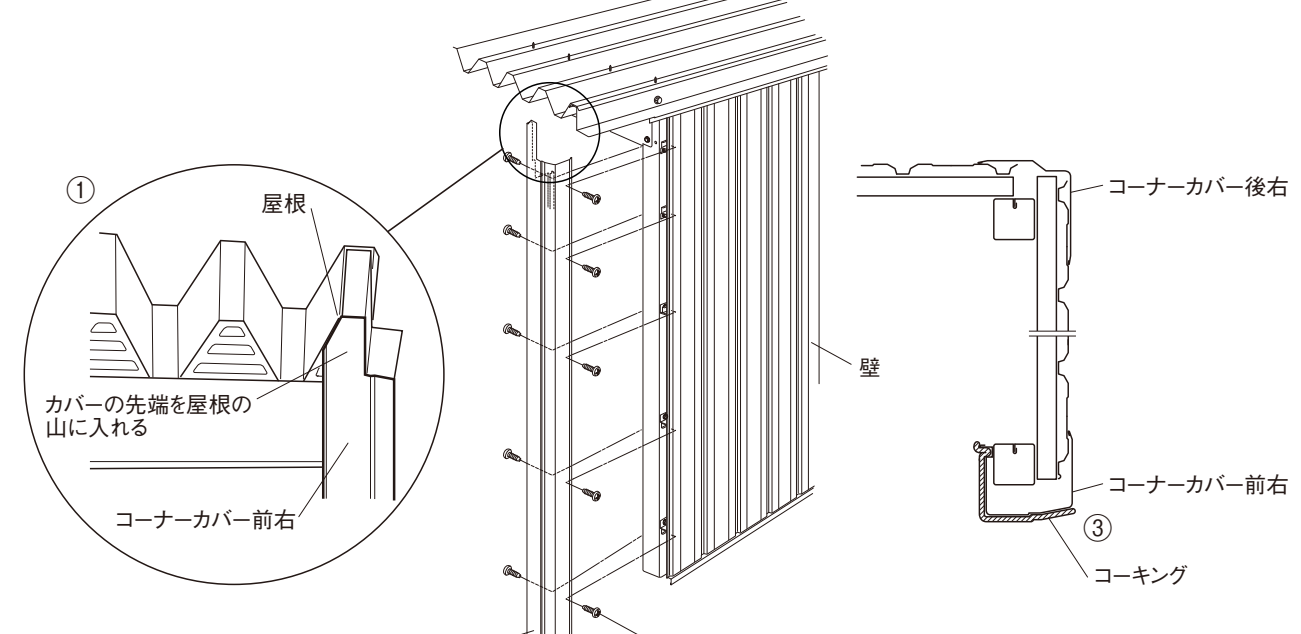
- ⑤さびの原因になりますので、テックスで固定後、切り粉を除去します。



■横壁		■後壁	
Lタイプ	H-FHタイプ	Lタイプ	H-FHタイプ
胴縁本数	4	胴縁本数	4
胴縁ピッチ	下から154.5+350+600+600	胴縁ピッチ	下から154.5+350+600+600
			下から154.5+600+600+600

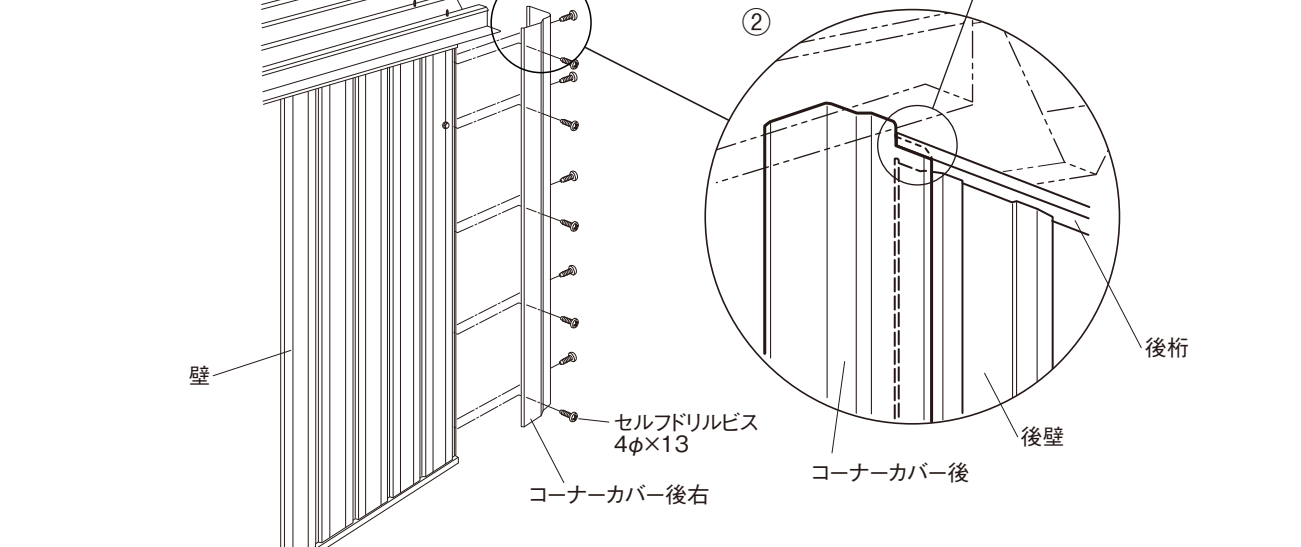
## 11 コーナーカバー

- ①コーナーカバー前右及び前左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って胴縁に固定します。(セルフドリルビス4φ×13)



- ②コーナーカバー後右及び後左を図の様に取付けます。目印孔があいいますので、そこにビスを打って固定します。(セルフドリルビス4φ×13)

※コーナーカバー後は取り付けの向きに注意してください。(切り欠きのある方が上で、切り欠きは後桁の方にします。)

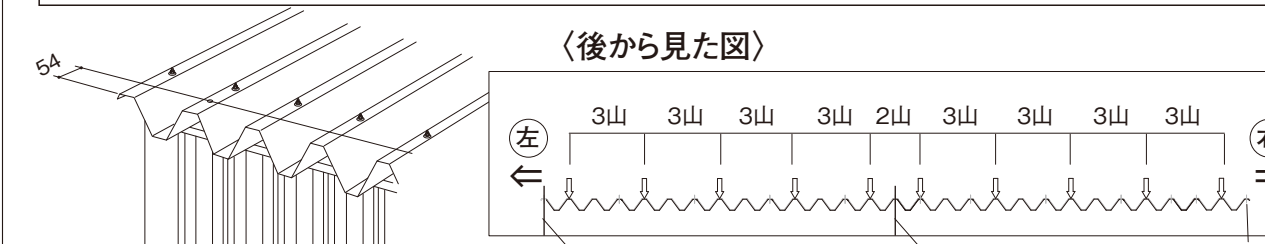


- ③上図のようにコーキングを行って下さい。

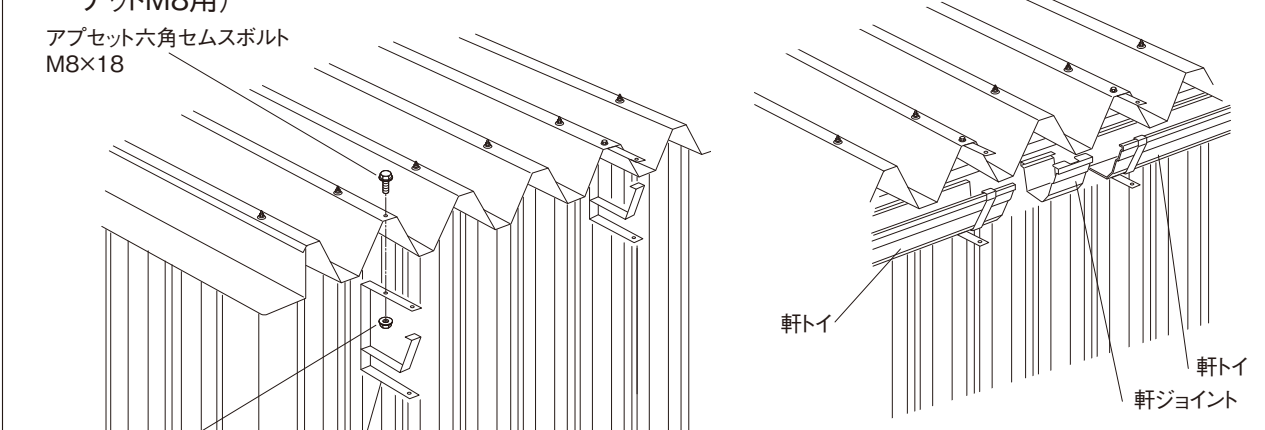
## 12 トイ

注意 各材の接続部は水が漏れない様付属のボンドで接着してください。

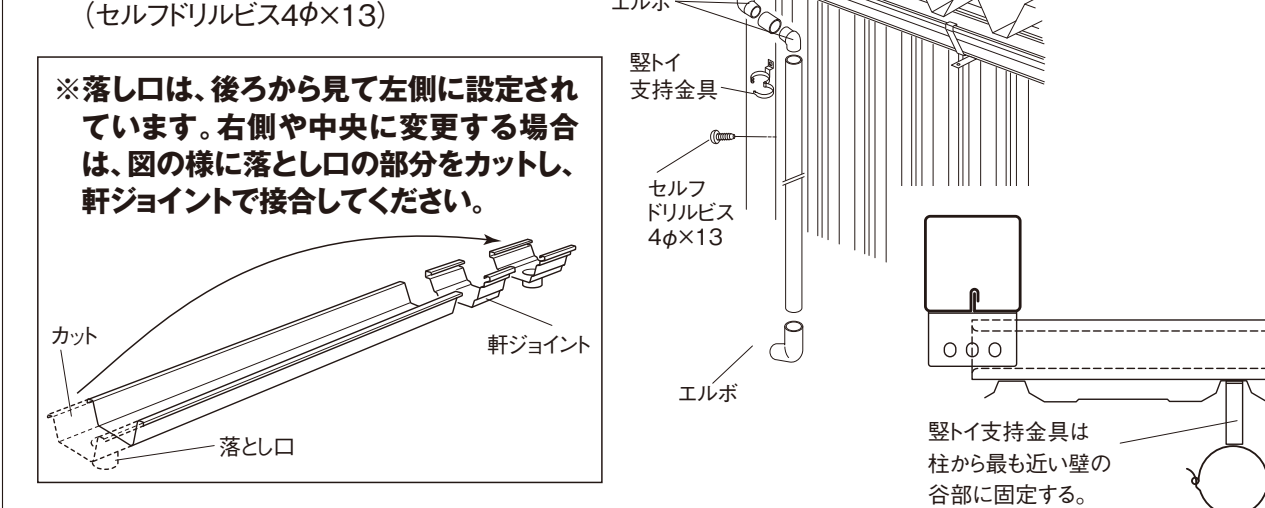
- ①屋根後部の矢印の位置に10φの孔を明けます。



- ②トイ受金具を屋根にボルト止めします。(アプセット六角セムスボルトM8×18、六角フランジナットM8用)
- ③トイをトイ受金具に取り付けます。トイの継ぎ目はトイジョイントで継ぎます。



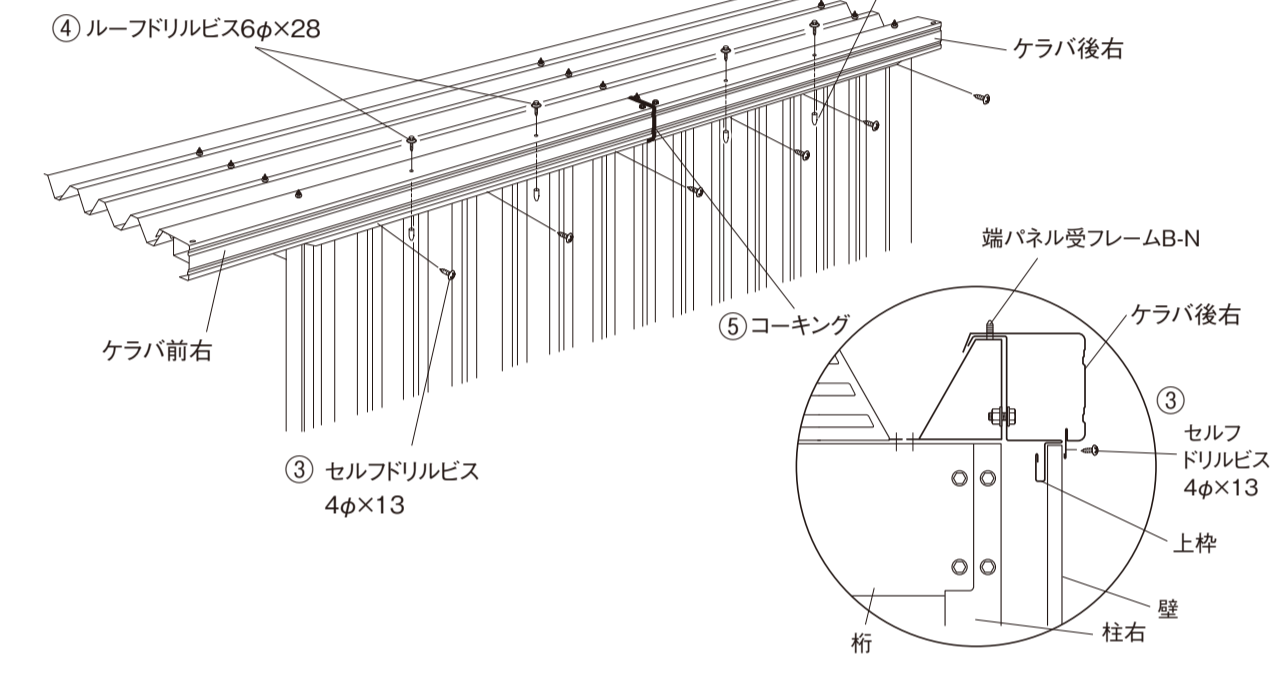
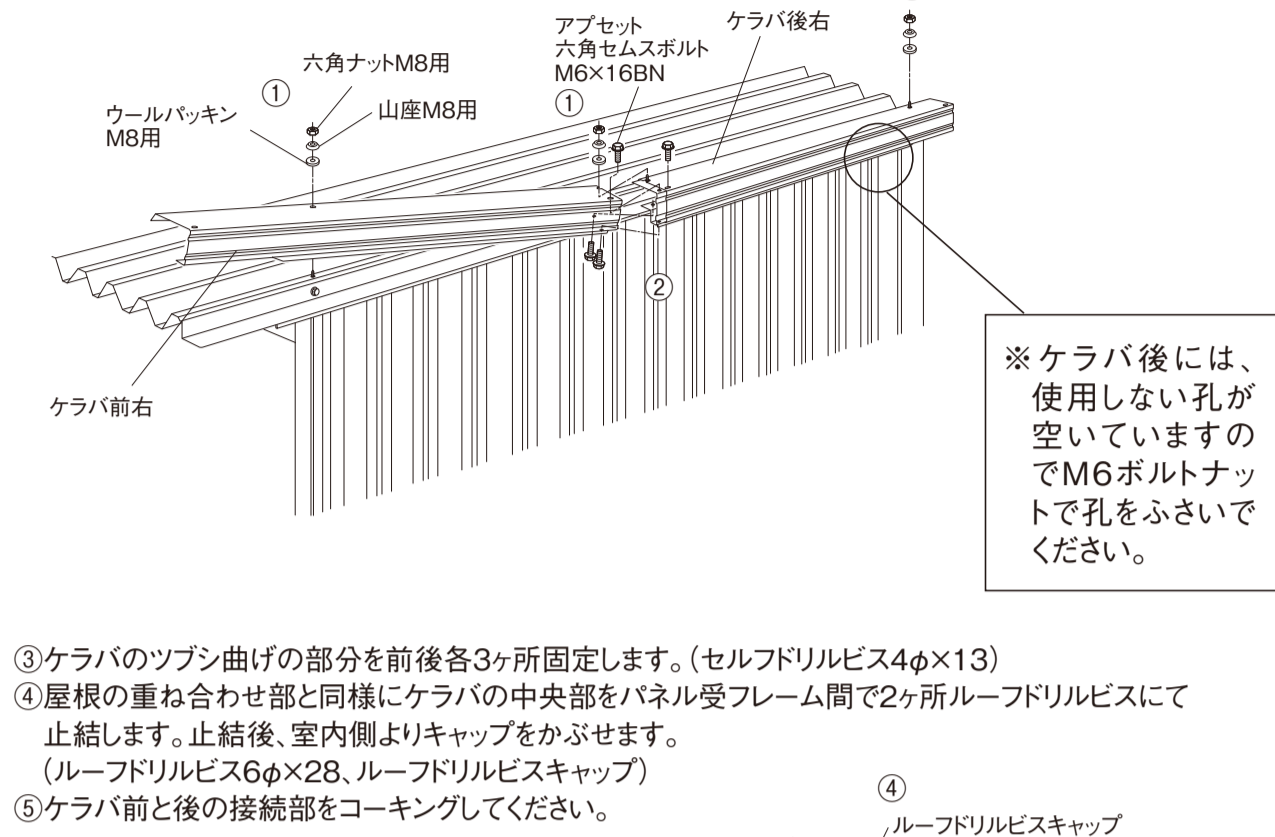
- ④トイ支持金具を右図の位置に壁・胴縁と共締めし、トイとエルボを接続します。(セルフドリルビス4φ×13)



※落とし口は、後ろから見て左側に設定されています。右側や中央に変更する場合は、図の様に落とし口の部分をカットし、トイジョイントで接合してください。

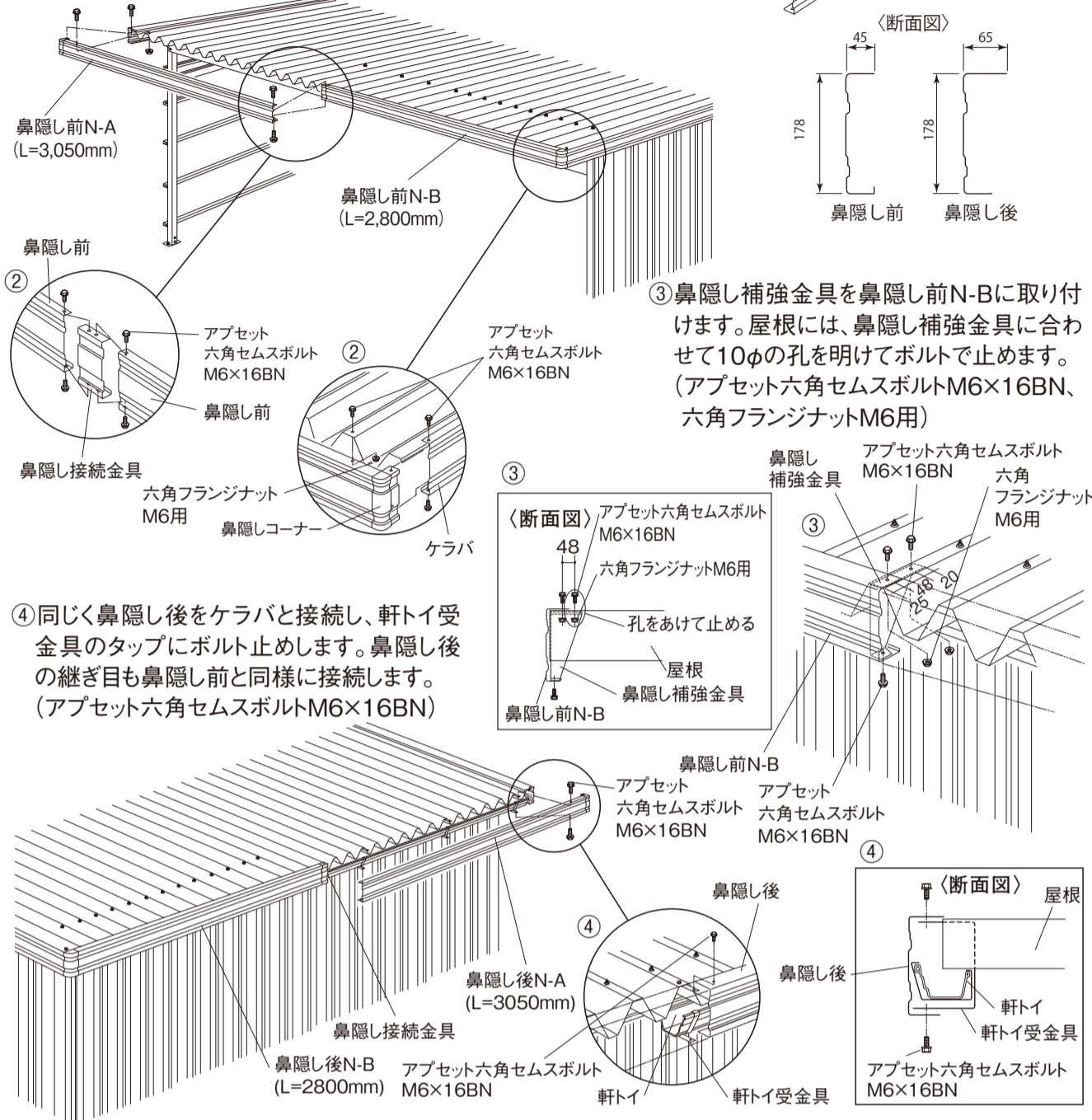
### 13 ケラバ

- ①ケラバ前右、後右をパネル受フレームの剣先ボルトに取り付けます。(ウールパッキンM8用、山座M8用、六角ナットM8用)
- ②中央部分はケラバ包み接続金具に差し込み取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)



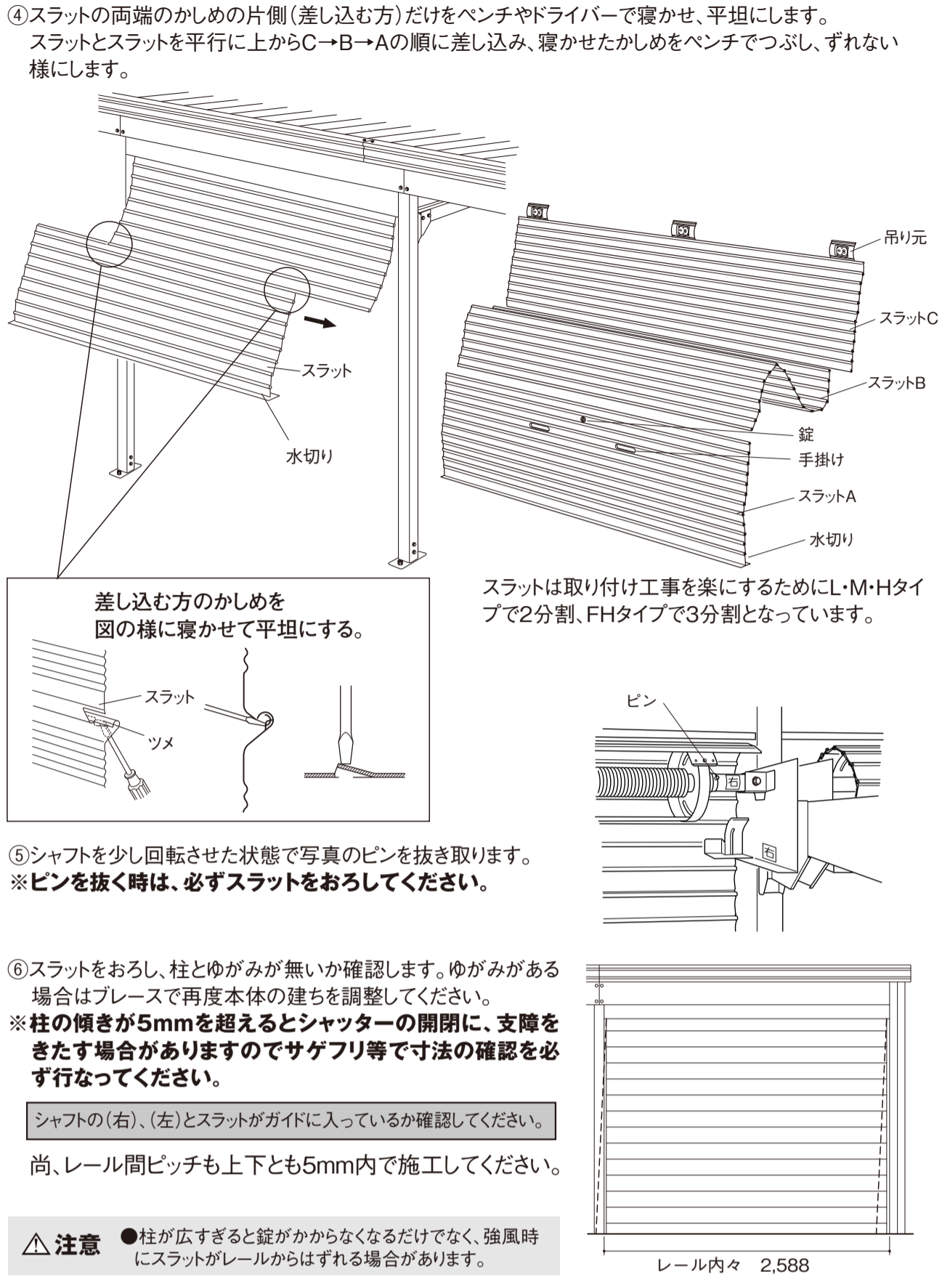
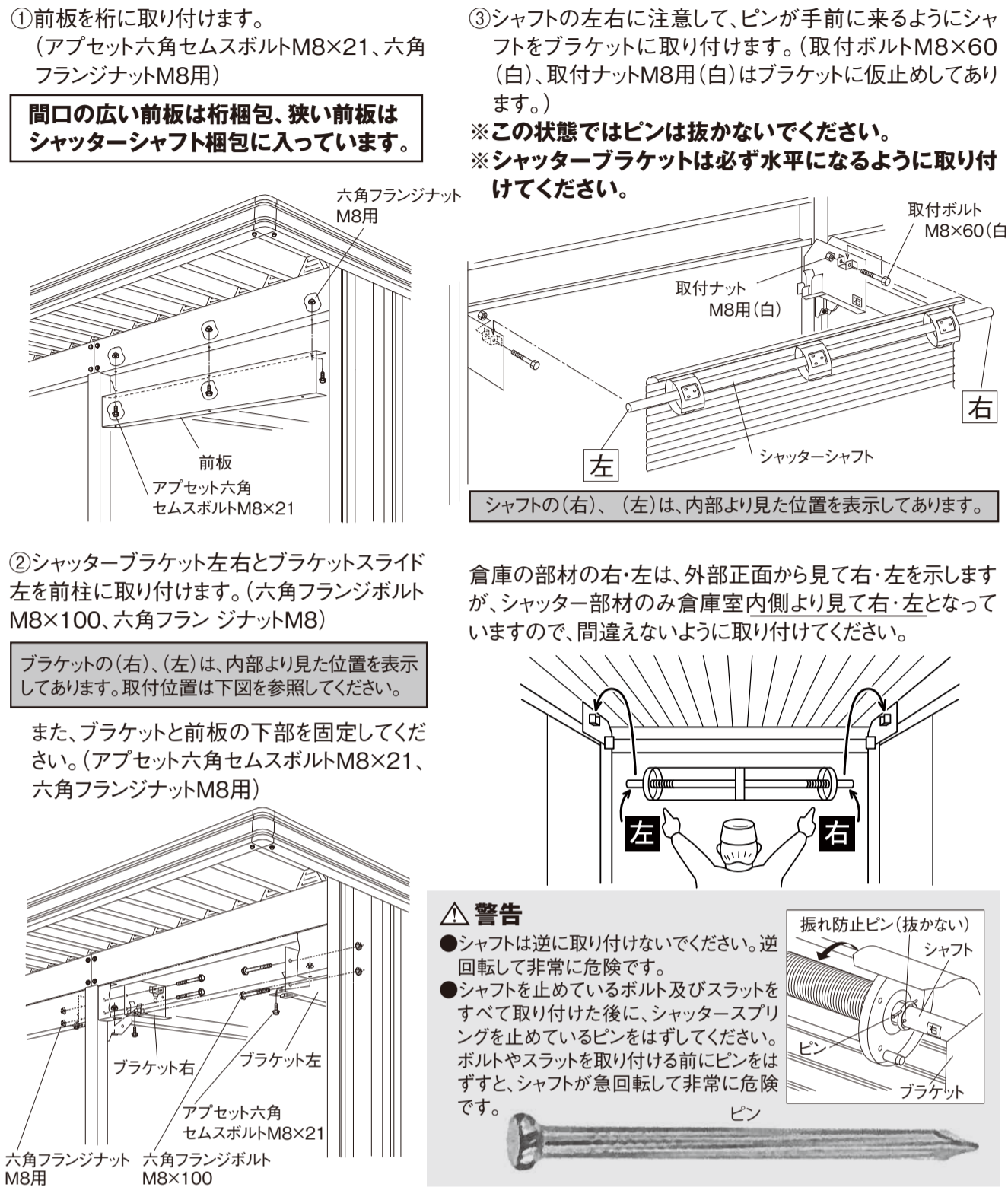
### 14 鼻隠し

- ①鼻隠しコーナーを、鼻隠し前・後の両端に取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM6×16BN)
- ※鼻隠しコーナーの上下の向きに注意して取り付けてください。
- ②鼻隠し前をコーナーでケラバと接続し、屋根と鼻隠しコーナーにボルト止めします。(アプセット六角セムスボルトM6×16BN、六角フランジナットM6用)

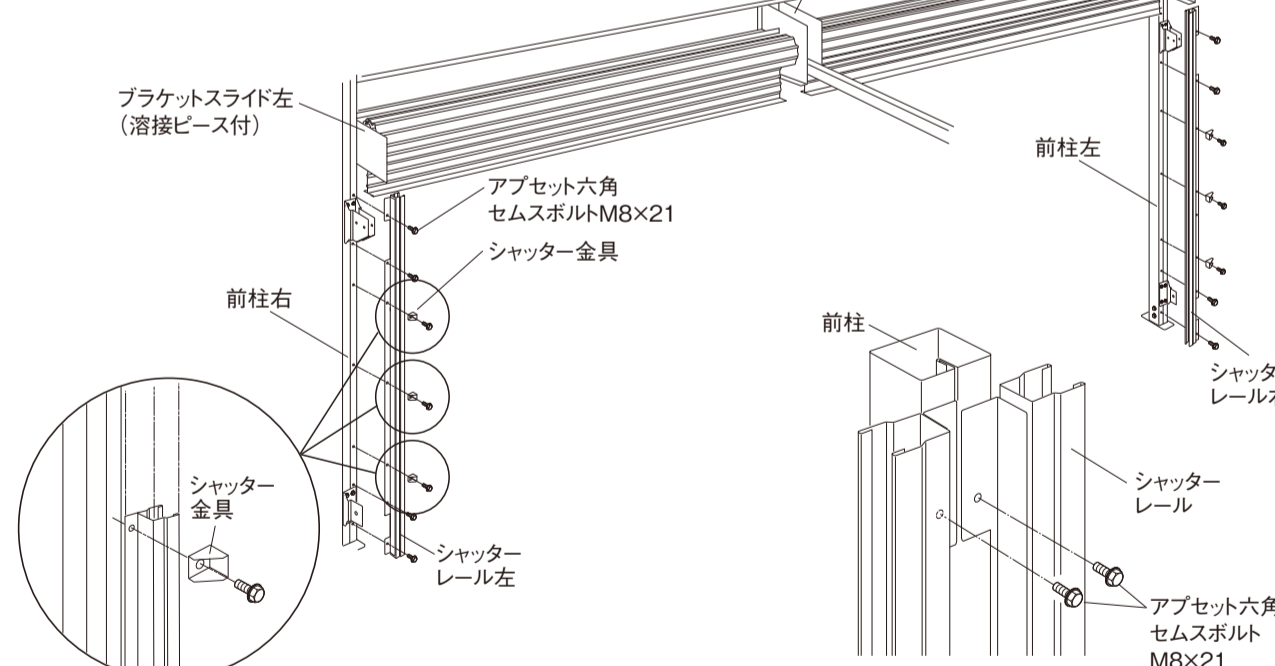


### 15 シャッター

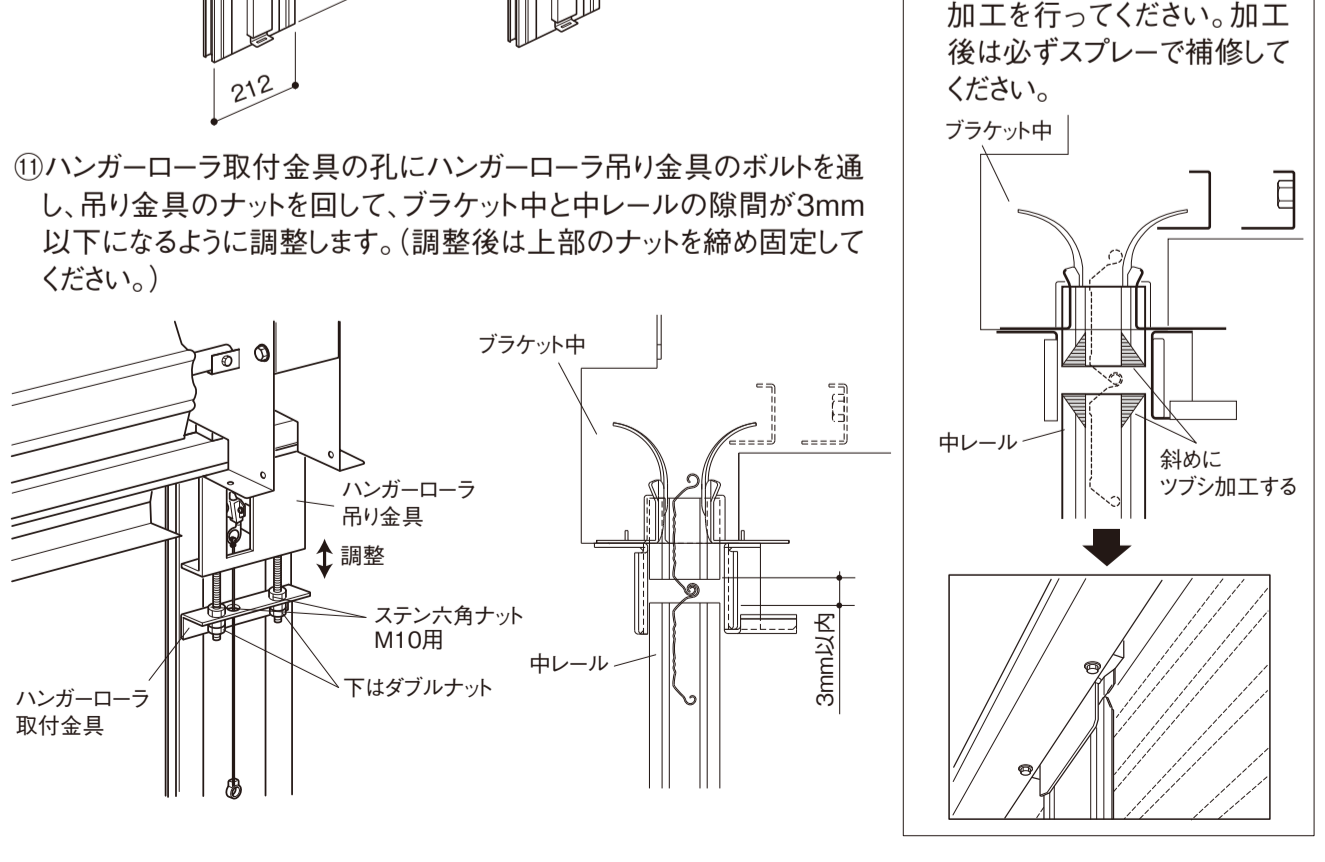
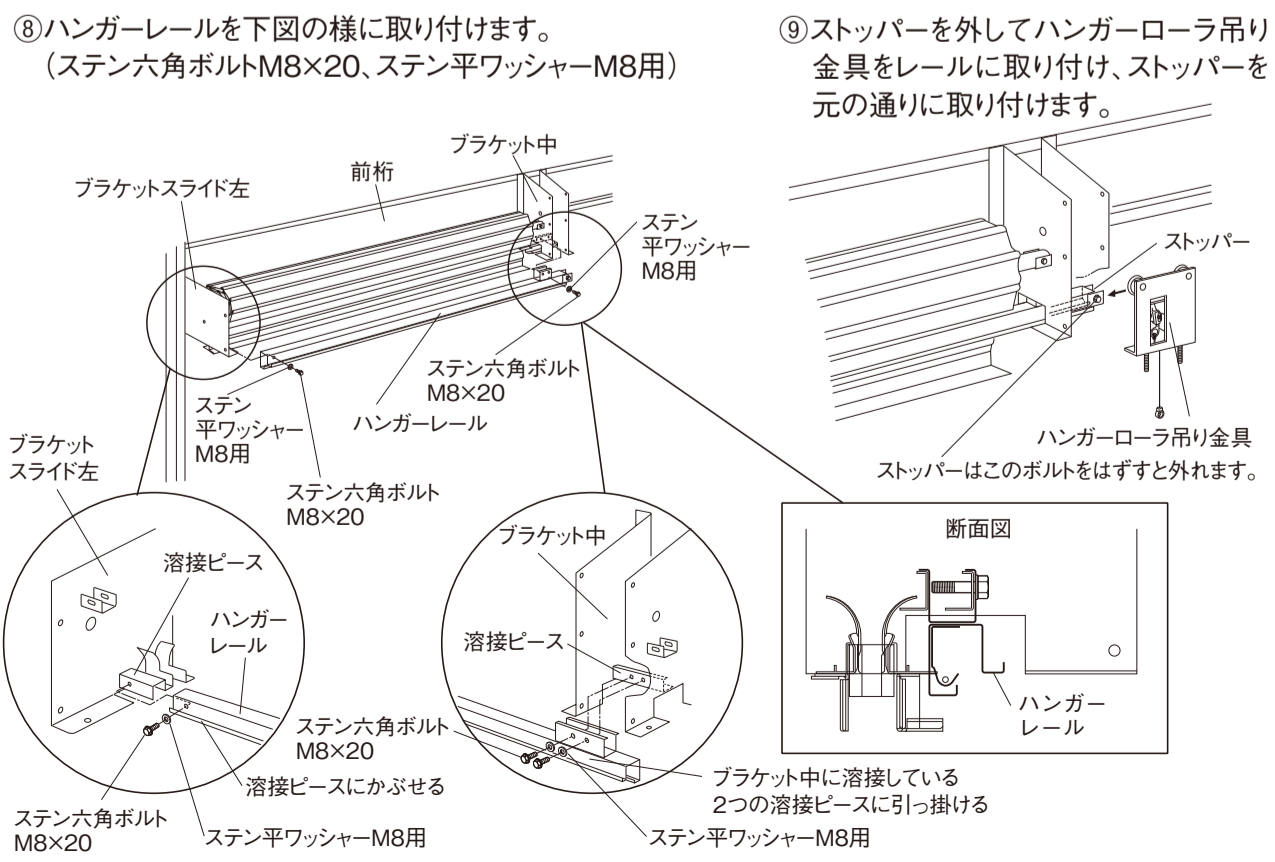
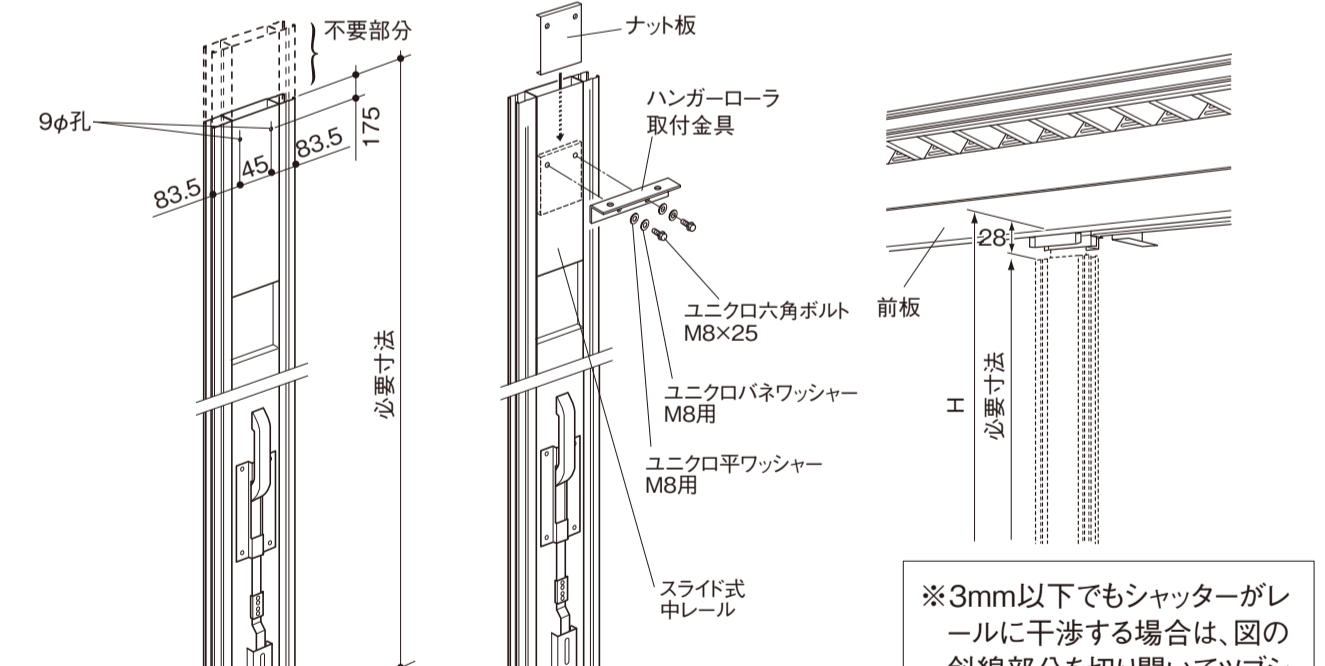
**注意** リモコンシャッターの場合も同様の手順で進めて下さい。ただしシャッターシャフト部の配線はシャッター工事店が行いますので配線部品には触れないでください。



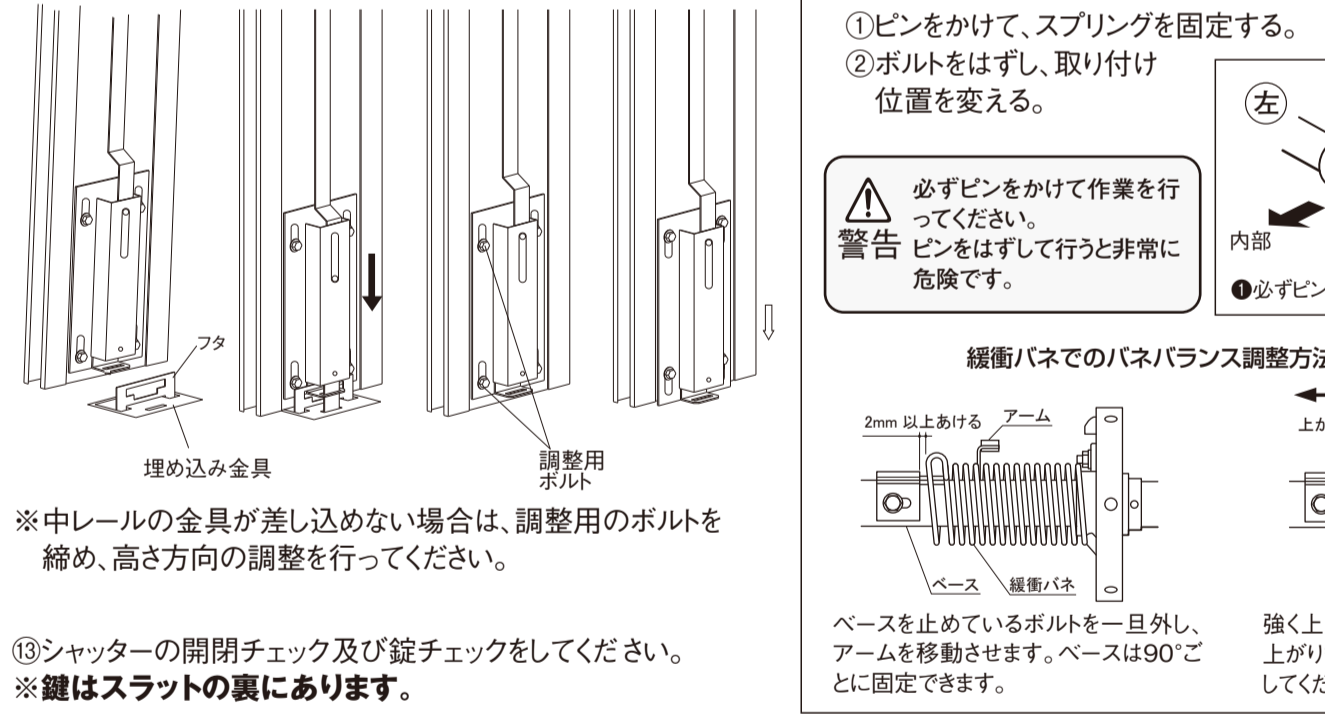
- ⑦シャッターレール左右をブラケット下部に差し込み、柱に取り付けます。(アプセット六角セムスボルトM8×21)



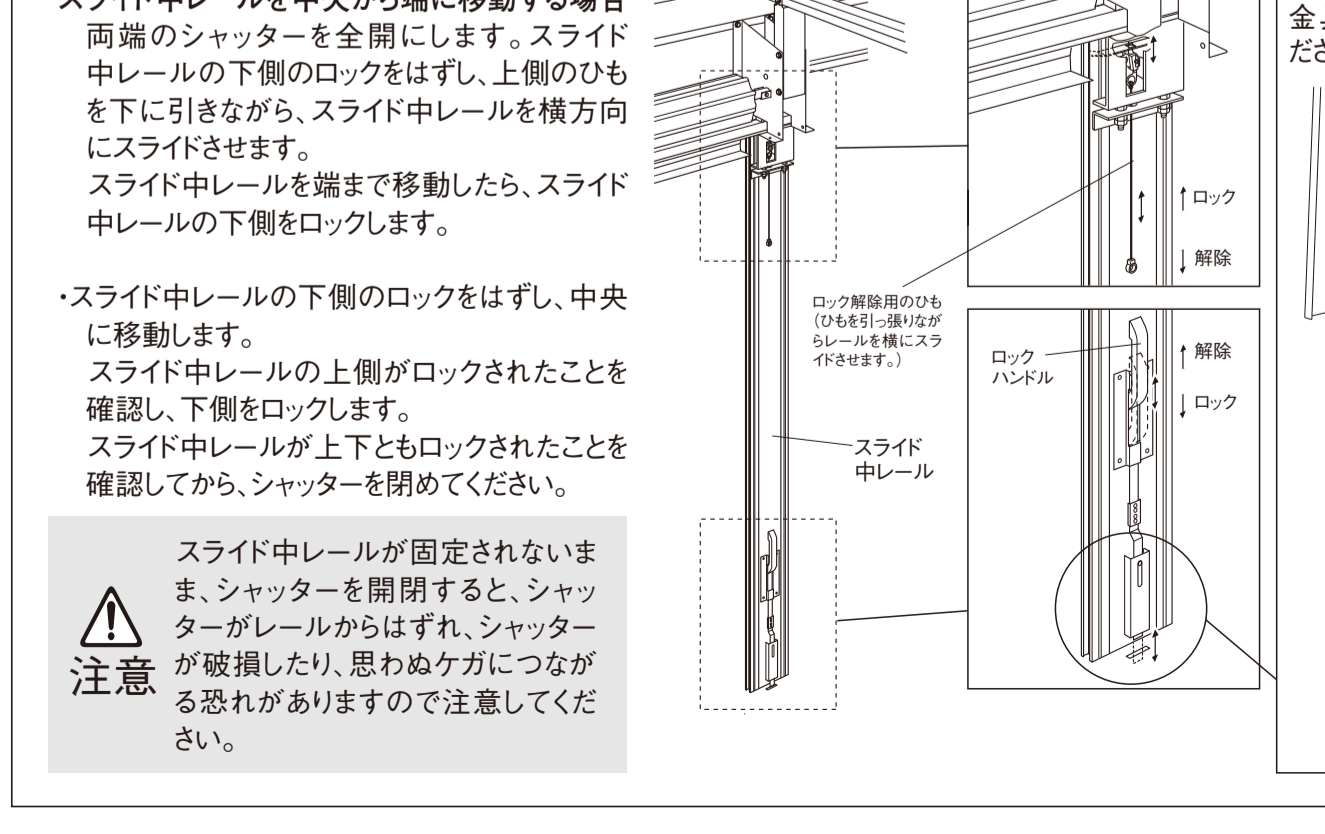
- ⑩スライド式中レールの全長が基礎(土間)仕上げ面より長い場合は、切断して調整します。前板の下端から基礎面の高さをHとし、高さHから28mm引いた寸法が必要寸法となります。中レールの下端から計り、必要寸法に切断します。



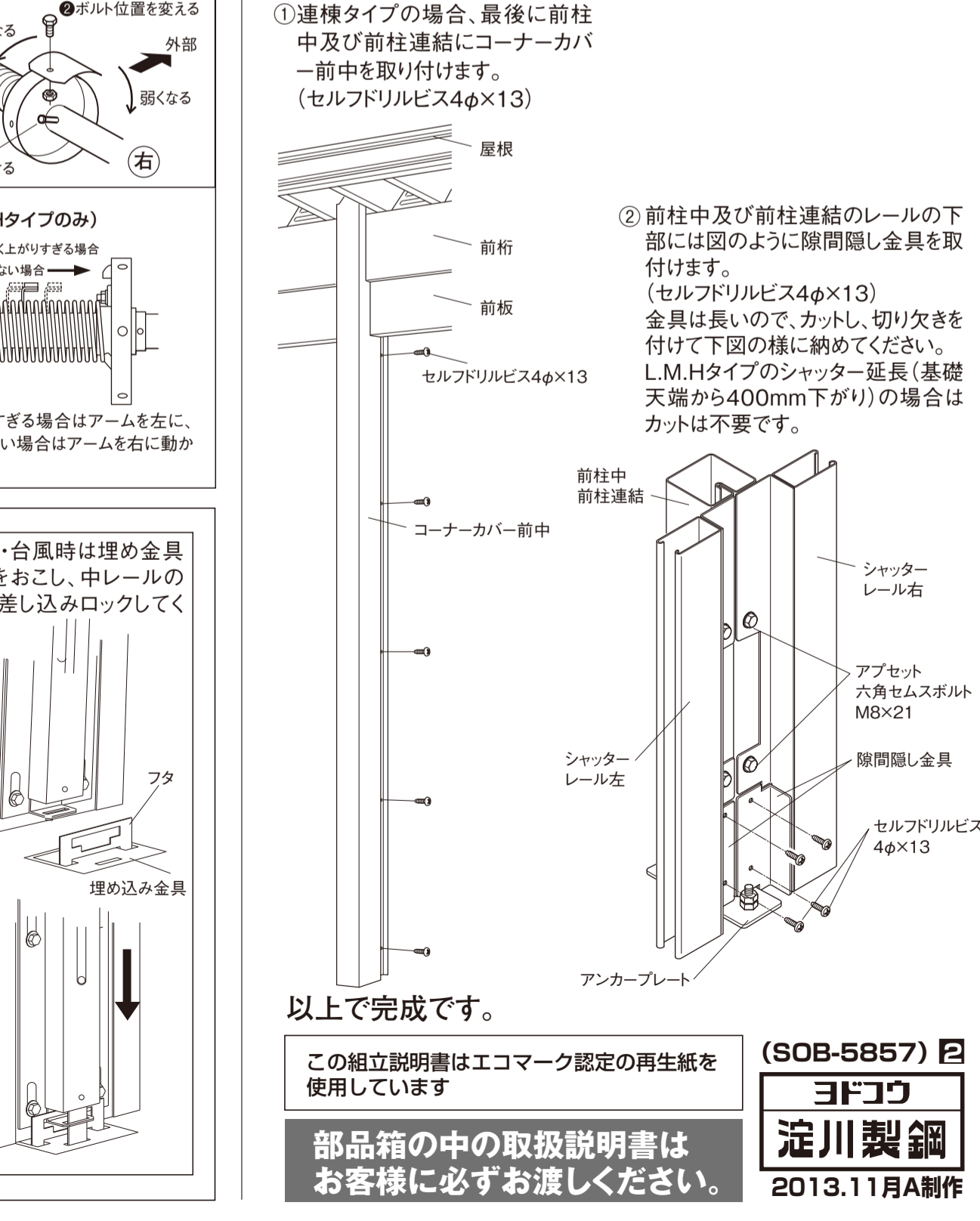
- ⑫埋め込み金具のフタを起こし、中レールの金具がスムーズに入る事を確認してください。



- ⑬シャッターの開閉チェック及び錠チェックをしてください。※錠はスラットの裏にあります。



### 16 コーナーカバー前中・隙間隠し金具 (布基礎の場合のみ)



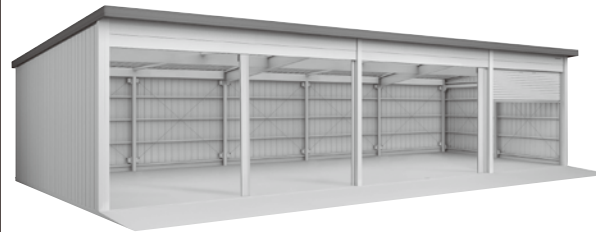
**ヨドコ**  
**淀川製鋼**  
2013.11月A制作

※この補足説明書は、SOB-5857の組立説明書と合わせてご覧下さい。

# ヨド倉庫

## 補足説明書

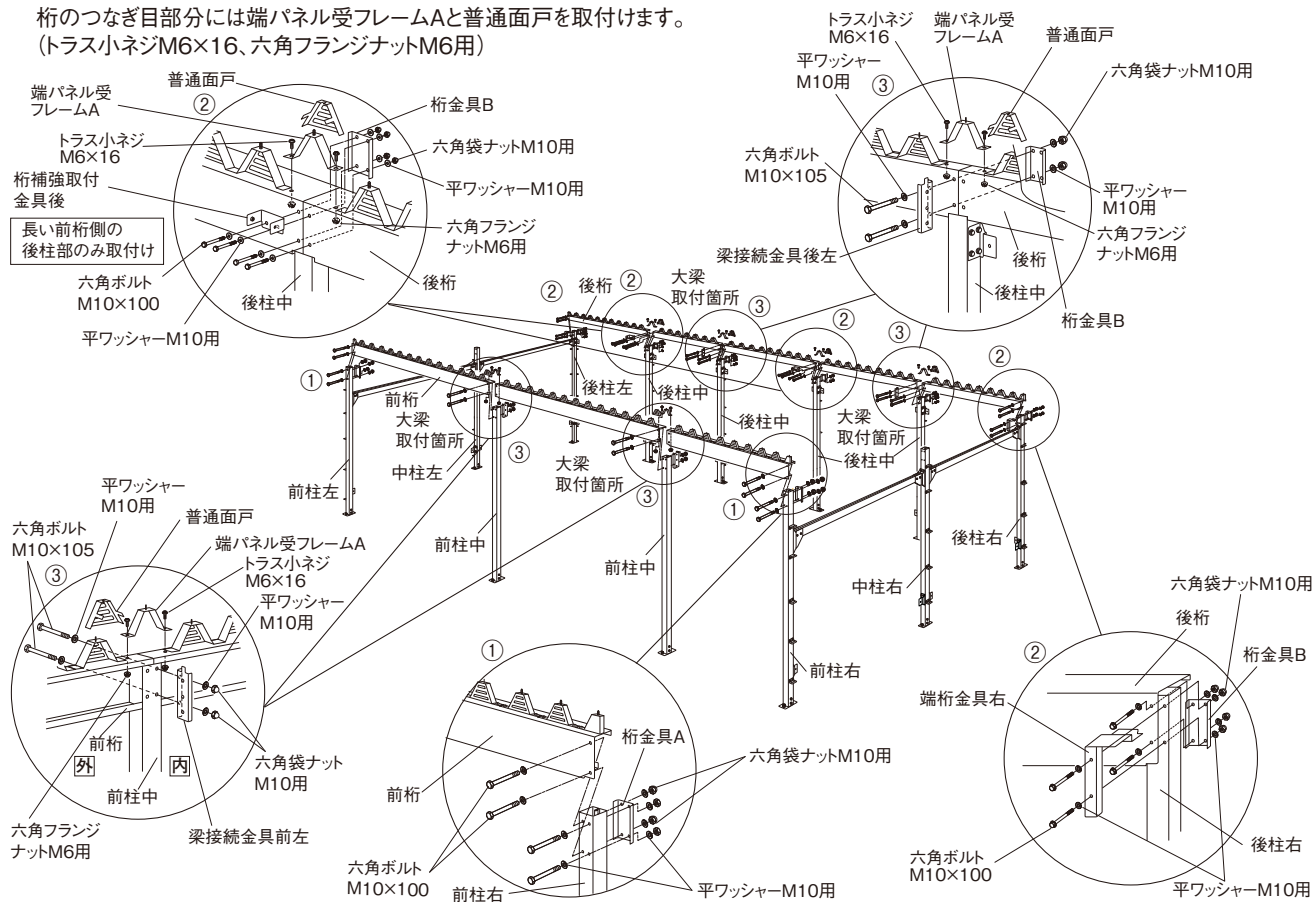
### SOB-14257型 (L)・(M)・(H)・(FH)



※本説明書はSOB-14257MA型を元に説明しております。

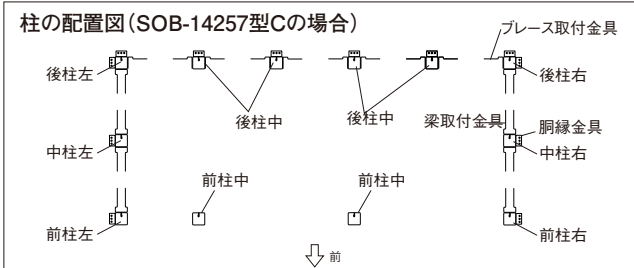
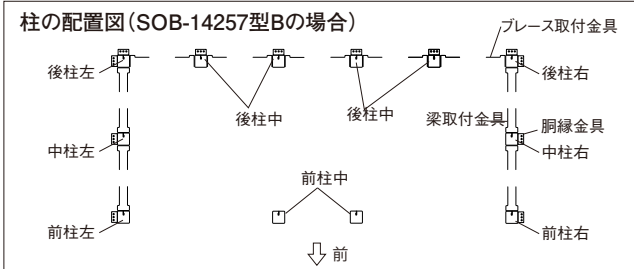
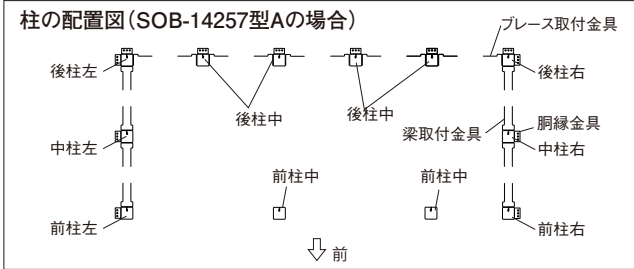
## 5 桁及び大梁(梁55A・梁55B)

- ①前桁を前柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。  
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ②後桁を後柱に仮預けし、桁金具Bと一緒にボルト止めします。  
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
大梁取付箇所以外の後柱中には桁補強取付金具後も同時に取り付け、後柱の左右については端桁金具も取付けます。  
桁のつなぎ目部分には端パネル受けフレームAと普通面戸を取付けます。  
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)
- ③梁接続金具前左を前桁(前柱中)に、梁接続金具後左と桁金具Bを後桁(後柱中)に取付けます。※前柱中には桁金具Aは不要です。  
(M10×105六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
桁のつなぎ目部分には端パネル受けフレームAと普通面戸を取付けます。  
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)

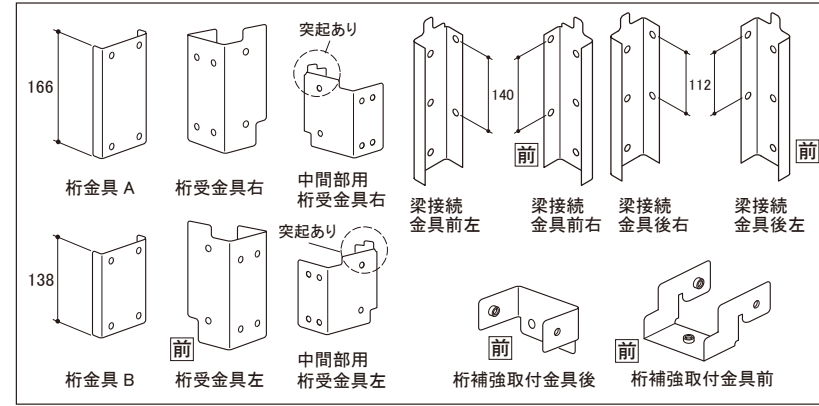


※3柱、5桁、8ブレース及び15シャッターについては、この補足説明書を参照し、組立を行って下さい。

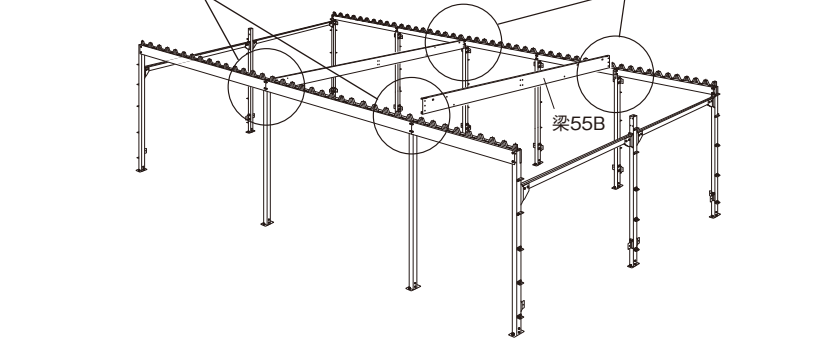
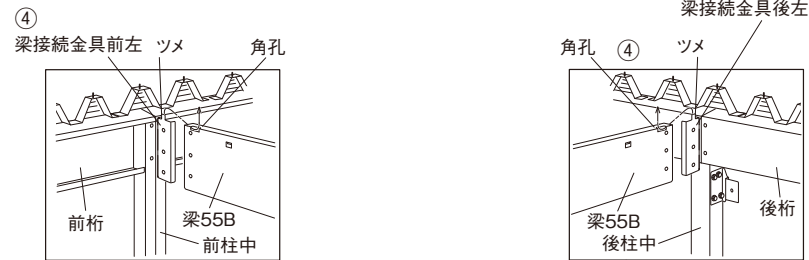
## 3 柱



## 〈使用金具一覧〉

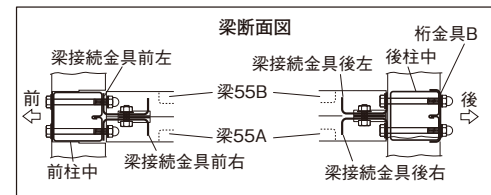
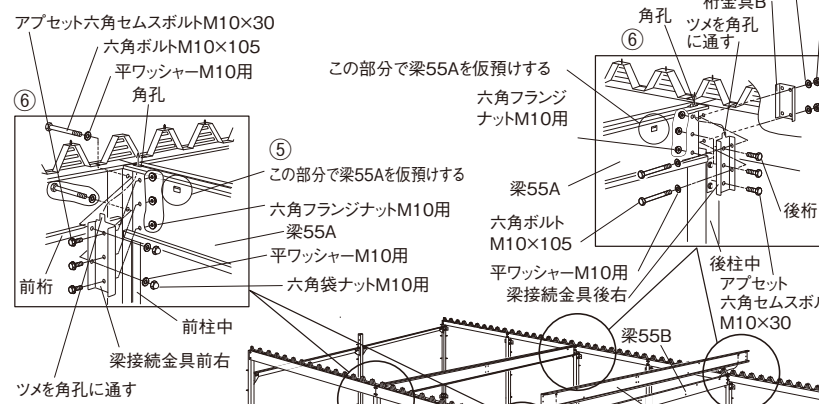


④梁55Bの角孔を梁接続金具前左・後左のツメに通して仮預けします。

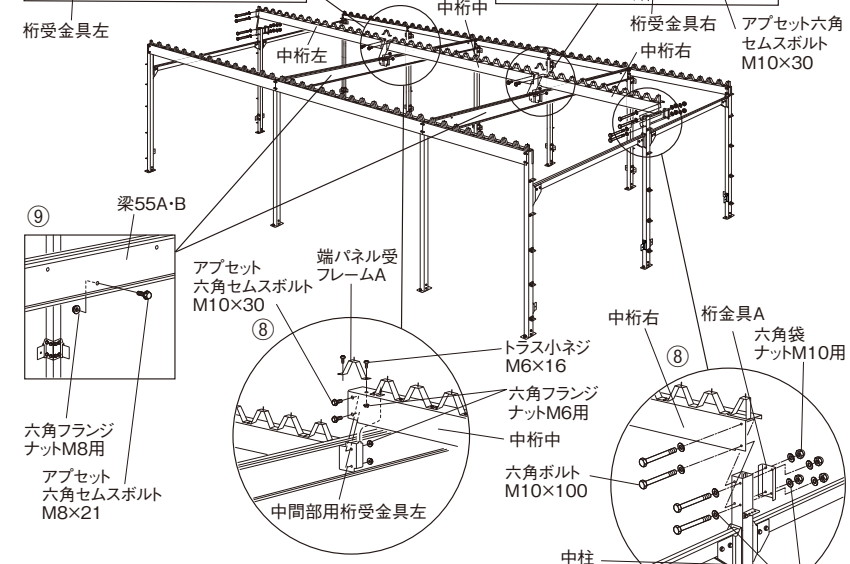
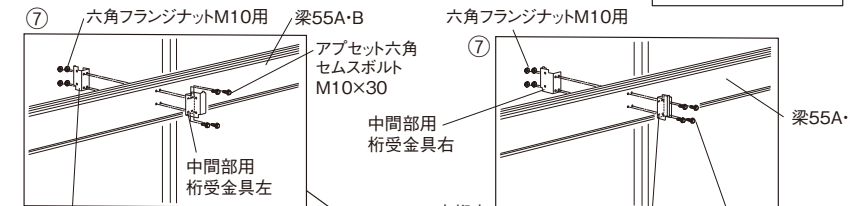


⑤梁55Aのツメを梁55Bの角孔2カ所に引っ掛けて仮預けします。

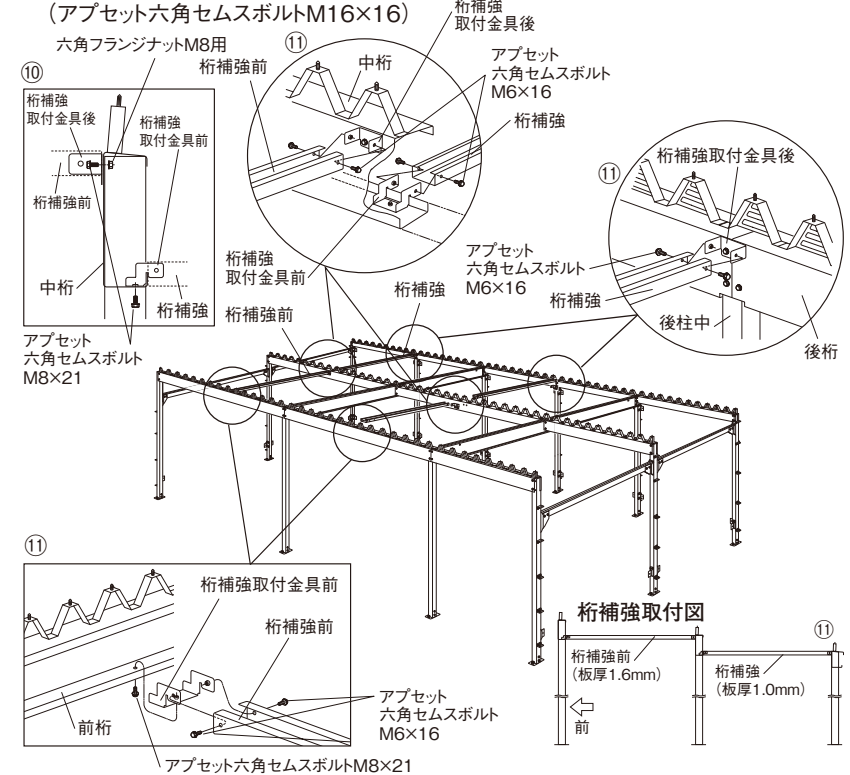
⑥梁接続金具前右を前桁(前柱中)に、梁接続金具後右を後桁(後柱中)に取付けます。  
(M10×105六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
梁接続金具左右と大梁(55A・55B)を固定します。  
(アセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)



- ⑦桁受金具、中間部用桁受金具を大梁(梁55A・梁55B)の中間部分に取付けます。  
大梁(梁55A・梁55B)間には中間部用桁受金具を、柱側には桁受金具を下図のように取付けます。  
(アセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)
  - ⑧中桁を取付けます。両端部は中柱に桁金具Aと一緒に固定します。  
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)  
中間部は大梁の桁受金具に固定します。  
中桁は角孔に中間部用桁受金具の突起部を差し込み仮預けして固定します。  
(アセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)  
また桁のつなぎ目部分には端パネル受けフレームAも取付けます。  
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)
  - ⑨梁55Aと梁55Bをボルトで固定します。  
(アセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ※梁55Aと梁55Bに空いている孔、全てを固定してください。



- ⑩桁補強取付金具前・後を中桁に図のようにボルト止めします。  
(アセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ⑪桁補強取付金具前を前桁に取付け、下図の様に桁補強前(桁補強)で前桁(中桁)と中桁(後桁)につなぎます。  
(アセット六角セムスボルトM16×16)



# 8 ブレース

※全てのブレースを取り付ける事により、建築基準法上の風荷重・地震荷重に耐える構造となっていますので、必ず全てのブレースを取り付けてください。

## 側面のブレース取付

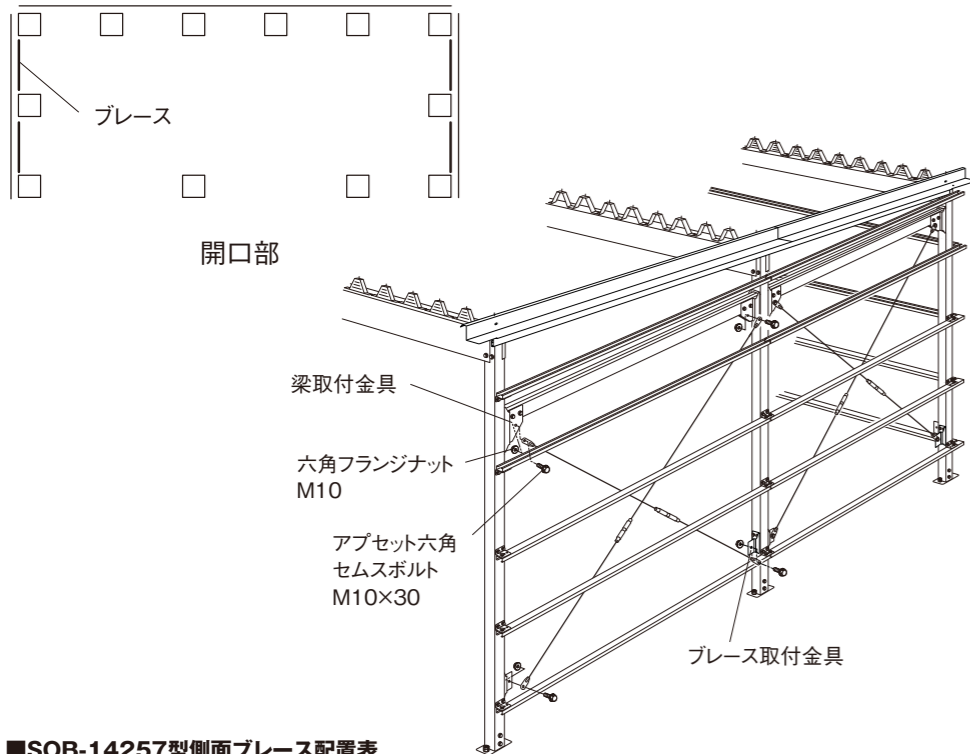
①ブレースを側面前の梁取付金具とブレース取付金具に取付けます。  
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)

※Mタイプ・Hタイプ・FHタイプは、ブレースが太く(10.7φ)なります。

(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)

※側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアが来る場合は、ブレースの取付け位置を変更する必要がありますので、次の[オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合]を先に確認してください。

■側面



■SOB-14257型側面ブレース配置表

機種	Lタイプ		ブレース径	機種	Mタイプ		H・FHタイプ		ブレース径
	NA・B-L	ℓ=3015mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =1875mm)			NA・B-M	ℓ=3310mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =2140mm)	SA-H	ℓ=3545mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =2375mm)	
連棟数	前	後	7.0φ	連棟数	前	後	前	後	10.7φ
単棟	○	○		○	○	○	○	○	

○:必要

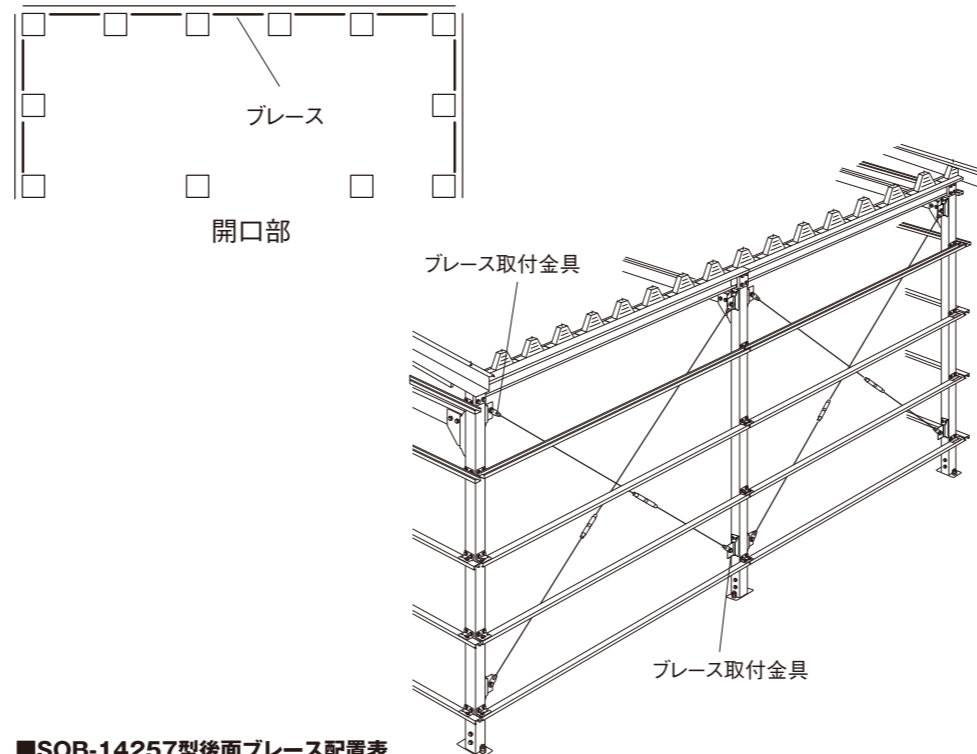
## 後面ブレースの取付

①ブレースを柱上部のブレース取付金具と柱下部のブレース取付金具に取付けます。(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)

※Hタイプ・FHタイプは、ブレースが太く(10.7φ)なります。

(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)

■後面



■SOB-14257型後面ブレース配置表

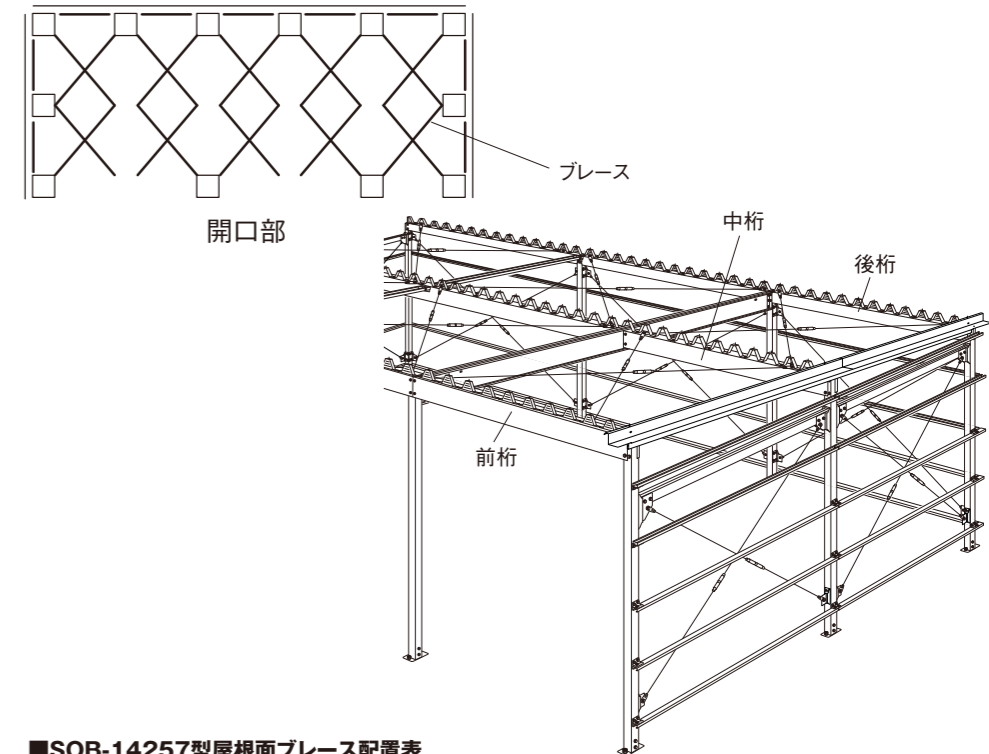
機種	Lタイプ		Mタイプ		ブレース径	機種	H・FHタイプ		ブレース径
	NA・B-L	ℓ=3015mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =1875mm)	NA・B-M	ℓ=3310mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =2170mm)			SB-H	ℓ=3650mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =2480mm)	
連棟数	前	後	前	後	7.0φ	連棟数	前	後	10.7φ
単棟	○	○	○	○		○	○		

○:必要

## 屋根ブレースの取付

①ブレースを全ての桁間に取付けます。  
(アプセット六角セムスボルトM10×30、六角フランジナットM10用)

■屋根面



■SOB-14257型屋根面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		ブレース径	機種	H・FHタイプ		ブレース径
	NC	ℓ=3635mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =2495mm)	NC	ℓ=3635mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =2495mm)			NC	ℓ=3650mm (ℓ <sub>1</sub> =1080mm + ℓ <sub>2</sub> =2480mm)	
連棟数	前	後	前	後	7.0φ	連棟数	前	後	10.7φ
単棟	○	○	○	○		○	○		

○:必要

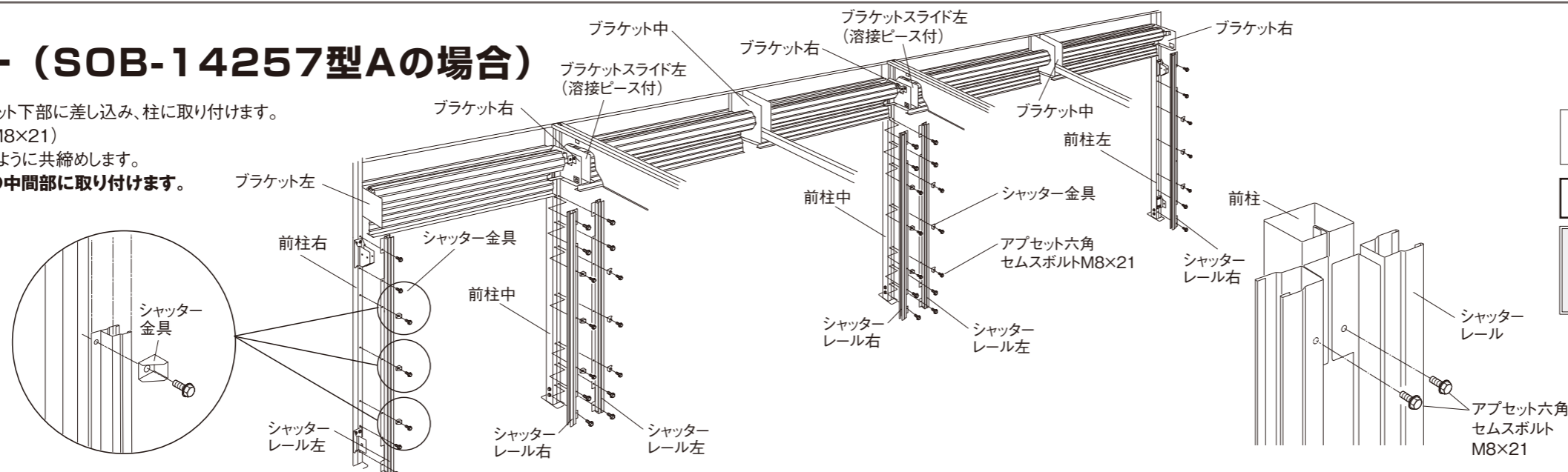
# 15 シャッター (SOB-14257型Aの場合)

⑦シャッターレール左右をブラケット下部に差し込み、柱に取り付けます。

(アプセット六角セムスボルトM8×21)

この時、シャッター金具を図のように共締めします。

※左、右各3個ずつをレールの中間部に取り付けます。



組立後、各部のボルト・金具の忘れや緩みがないか確認してください。

この組立説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています

**お客様へ** 組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。  
**施工業者の方へ** 取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

(SOB-14257)

ヨドコ

淀川製鋼

2013年C制作